

令和7年度丹波篠山市行政評価表

基本目標 1) 市民が主役で暮らしの質を高めるまちづくり 【暮らし・人】						
中目標 ①市民が主体でつくるまち						
小目標 1. みんなが自分を活かせる地域をめざす			主な分野		コミュニティ	
該当するSDGsの目標番号		3	10	11	16	17
		すべての人に健康と福祉を	人や国の不平等をなくそう	住み続けられるまちづくりを	平和と公正をすべての人に	パートナーシップで目標を達成しよう
No	事務事業名	事業概要		事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）		今後の方向性
1	市民プラザ、市民活動の支援	市民プラザによる相談業務の充実及び連携支援の実施		令和6年度の市民プラザによる相談件数は2577件、令和7年度は2616件あった。市民活動団体と地縁型コミュニティが連携して行う市民活動助成金事業の累計数は13件となった。また、市民プラザに新たな市民活動団体が19団体追加されたことから、情報提供等をしてしながら両者の連携を図っていく。		現状維持
2	丹波篠山市過疎地域持続的発展計画の策定（見直し）	過疎地域指定に伴う過疎地域持続的発展計画を策定		現計画の期間が令和7年度までであることから、次期過疎計画の策定を進めている。現在、パブリックコメントを終えたところであり、引き続き策定に向けて取り組んでいく。		現状維持
小目標 2. 多様な人材と交流でまちをつくる			主な分野		地域連携、関係人口	
該当するSDGsの目標番号		10	11	16	17	
		人や国の不平等をなくそう	住み続けられるまちづくりを	平和と公正をすべての人に	パートナーシップで目標を達成しよう	
No	事務事業名	事業概要		事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）		今後の方向性
1	暮らし案内所・空き家バンクの運営	移住相談窓口と空き家バンクの運営、各関係団体との連携により、丹波篠山市への移住を促進する		令和6年度に82世帯203人と移住世帯数は過去最高の実績となった。空き家バンク物件登録・活用も堅調ではあるが、空き家も増加傾向にある。対策として、定住促進推進員の活動報告を空き家のマッピングを毎年更新していく形に改め、運用していく。		現状維持
2	移住・定住促進のための各種助成制度	丹波篠山暮らし定住住宅補助金、定住促進重点地区子育て応援補助金、高等学校遠距離通学費補助金、東京圏移住支援金、お試し滞在事業、結婚祝い新生活支援事業		各助成制度は堅調に利用され、特にお試し滞在は年間30件近い利用実績があり、6割が移住や移住意向向上につながり、定住・定着に寄与している。結婚祝い新生活支援事業については、申請の多くが篠山や岡野地区の賃貸物件居住であり、人口が少ない定住促進重点地区への居住につながっていない。また、年収や住居要件等が国の要件からはずれのものが多く、市の負担が多いことから見直しが必要。		現状維持
3	空き家活用のための各種助成制度	丹波篠山暮らし定住住宅補助金【空き家バンク活用住宅改修型】、空き家活用支援事業補助金、古民家再生促進支援事業補助金、空き家バンク成約・登録謝礼金		空き家バンクの成約に応じて改修補助金も年間20件程度申請され、空き家の活用につながった。また、空き家所有者への登録謝礼金も増え、空き家バンクへの登録も堅調ではあるが、空き家も増加傾向にある。対策として、定住促進推進員の活動報告を空き家のマッピングを毎年更新していく形に改め、運用していく。		現状維持
4	官学連携事業	地域の課題解決のための共同研究の実施や、丹波篠山をフィールドとした研究者や学生の活動の支援を行う		官学連携事業は、市内において共同研究の実施や研究者、学生の活動が積極的に行われている。今後も新しい地域課題解決のために、より多面的に取り組む必要がある。		現状維持
5	ふるさと応援寄付事業	ふるさと応援寄付金の募集を通じて、市外の丹波篠山市の支援者を創出する		寄附額、寄附件数ともに増加傾向にあり、引き続き、中間事業者とも連携のうえ、返礼品事業者の開拓、新規返礼品の追加、ポータルサイト上のPR強化等により、寄附拡大を図り、丹波篠山市の支援者を増やしていく。		現状維持
6	地域コミュニティ活性化施設事業	地域コミュニティ活性化施設の活用について支援や助言を行う		閉校した小学校施設を活用した雲部・福住・大芋コミュニティ活性化施設は、令和5年度から5年間の指定管理者として現在の指定管理者を引き続き指定し、それぞれ事業計画に基づいた活動が推進されている。雲部については、大規模改修に適さない（建替が必要）と判明したことから、将来的な方向性を地域が主体となり検討していく。		現状維持
7	全国の自治体との交流	防災協定等ゆかりのある自治体との市民間交流を推進する		姉妹都市の愛南町・犬山市との小学生交流事業、館山市とのマラソン相互出場、学校給食交流など、市民間の交流を行っている。今後も引き続き、都市間交流を推進する。		現状維持
8	海外都市との交流	海外都市との交流（アメリカ・ワラワラ市、ベトナム・フエ市）を推進する		ワラワラ市とは姉妹都市提携50年を過ぎ、相互理解も進んでいる。毎年、高校生交換留学を行っており、市民等も含め異文化体験による学びの機会ができていく。今後も引き続き、交流を推進する。		現状維持

9	外国人住民への生活支援	在住外国人に対する生活支援の実施、国際理解センターとの連携による生活環境づくりの支援	丹波篠山市多文化共生推進基本方針に基づき、令和6年10月に外国人市民相談窓口を市役所内に設置し、在住外国人に対する相談業務等の生活支援を実施した。今後も引き続き方針を基に、在住外国人の支援を関係機関と連携を取りながら進めていく。	現状維持	地域振興課
10	多文化共生事業の推進	在住外国人との交流イベントの開催	令和5年度から外国人市民との交流を目的として多文化交流サロンを開催している。令和6年度は、2事業（浴衣でデカンショ祭り、自転車運転クイズと筆ペン体験）を実施し、17名が参加された。令和7年度は、4事業（やさしい日本語の料理教室、民族衣装着付け体験など）を実施し、64名が参加された。異国籍の同士の交流が図れた。今後も引き続き、異国籍の同士が交流する機会づくりとして多文化交流サロンを開催し、多文化共生社会の推進に繋げていく。	現状維持	地域振興課
11	結婚相談室事業	結婚相談室「輪～りんぐ～」による結婚を希望する男女の成婚と定住を目指す	年30人の新規会員登録で会員同士の交際の機会を増やし、年4組の成婚につながった。また、縁結びサポーターを導入し、イベントの周知を行った。今後は、より多くの成婚につなげられるよう、まずは会員数の増加を図るため、縁結びサポーターによる結婚相談室の周知や会員登録の呼びかけをする。他にも、会員へのサービスや相談室の環境向上を目的に、男女共同参画センターとの連携の可能性も検討が必要。	現状維持	創造都市課
12	ハートピア北条団地	未販売区画について、PRを行い販売を促進する	令和6年度中に完売となった。	完了	地域計画課
13	転入者おもてなし事業	転入者に特産品等をお渡しし、丹波篠山市の魅力を伝える	転入者への歓迎の気持ちを伝えとともに、継続しごみの分別方法を説明するなど安心して新生活がスタートできるようサポートする。また、特産であるお茶とお米のプレゼントし丹波篠山市の魅力を発信していく。	現状維持	市民課
14	地域おこし協力隊事業	地域おこし協力隊制度を活用し、地域の担い手を獲得する	地域おこし協力隊制度を積極的に活用し、地域の課題解決や地域活性化につながる活動を進めている。令和8年度に向けては、協力隊を必要とする地域の課題について、より解像度をあげられるよう地域との対話を図るとともに、当該地域と効果的な連携が期待できる隊員とのマッチングが実現するよう取り組んでいく。	改善	創造都市課 地域振興課

中目標 ②安全で暮らしの環境が整ったまち

小目標	1. 防災力を高め、安全なまちをつくる	主な分野	防災
-----	---------------------	------	----

該当するSDGsの目標番号	6 安全な水とトイレを世界中に 11 住み続けられるまちづくりを 13 気候変動に具体的な対策を 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリシップで目標を達成しよう
---------------	--

No	事務事業名	事業概要	事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）	今後の方向性	担当課
1	緊急車両の適正な維持管理	車両更新計画に基づく緊急車両の適正な維持管理	車両更新計画に基づき実施している。今後も計画に基づく更新を継続し、適正な維持管理に努め、災害出動に備える。	現状維持	消防本部各課
2	教育訓練の充実	高度で専門的な知識と技術を有する職員の養成を行う	兵庫県消防学校の各専科教育へ職員を派遣し、専門的な知識と技術を習得させ、組織全体のレベルアップを図る。	現状維持	消防本部管理課
3	消防力、防災力の向上	消防団との合同訓練の実施や会合での意思疎通等による連携強化	合同訓練（木造密集地火災防ぎょ、林野火災防ぎょ、文化財防火デーに伴う火災防ぎょ）、各種訓練指導等を通して連携強化を図る。	現状維持	消防本部警防課
4	住宅防火対策の推進	消火器取扱訓練、119番通報訓練、避難訓練の実施、住宅防火診断、火災予防普及啓発	各訓練及び立入検査は例年通り実施できている。住宅防火の普及啓発に伴う住宅用火災警報器などの広報は、情報発信回数を増やすことにより、市民への周知に努める。	現状維持	消防本部予防課
5	救急体制の高度化	救急救命士の養成及び研修による救命体制の高度化の推進	救急救命士の養成により、高度な医療知識や技術を習得することで、救命体制の高度化を推進していく。	現状維持	消防本部救急課
6	消防指令装置部分更新	消防指令装置の長期間使用に向けての部分更新	令和7年度に消防指令装置の部分更新（情報系更新）を行うことにより、各装置の故障率の低下と安全性を確保し、24時間365日の安定稼働に繋げる。	完了	消防本部警防課
7	デジタル無線更新	消防救急デジタル無線機器の長期使用に向けての部分更新	令和7年度に消防救急デジタル無線設備の部分更新を行うことにより、この先10年間の運用継続が可能となり、災害発生時の通信手段を確保する。	完了	消防本部警防課
8	本部庁舎の大規模改修	本部庁舎の屋根、外壁、ボイラー設備等の改修工事	新庁舎移転・建設を見据えつつ、大規模な改修は当面は見合わせるが、できるだけ早期に庁舎の不良箇所を見出すことにより、個別に修繕・改修を実施し、庁舎の維持管理に努める。	現状維持	消防本部管理課
9	防災と福祉の連携	防災への取り組み、避難行動要支援者の支援	防災と福祉の連携により、見守り台帳の登録や災害時ケアプランの作成を進め、「誰ひとり取り残さない避難訓練」の実践に取り組んでいる（毎年、2自治会で訓練実施）。令和6年度からは、できるだけ多くの自治会で啓発できるよう、住民学習の講座にも設定している。	現状維持	市民安全課 長寿福祉課 社会福祉課

10	原子力防災対策	安定ヨウ素剤の配布	安定ヨウ素剤の配布方法を郵送に変更し、市民の負担軽減と事務の効率化に努めている。令和5年度からは、乳児健康相談に合わせて乳児をはじめとした若年層への安定ヨウ素剤の配布を開始し、多くの新規配布につながっている。市民への周知・啓発に継続して取り組む。	現状維持	市民安全課
11	消防団活動事業	消防団員の活動支援、消防施設整備、運転免許取得費補助	消防団活動が維持できるよう、計画的な消防車両の更新、トイレ改修を中心とした詰所の修繕、運転免許取得費補助を継続して進めている。減少が懸念される消防団員については、募集啓発や機能別消防団員の入団促進を図っている。	現状維持	市民安全課
12	放置空き家対策	空き家等対策計画に基づく施策の実施	放置空き家に関する相談を継続し、解体等が必要な場合は、所有者確認・代執行等の手続きにより安全な住環境を維持する。	現状維持	地域整備課
13	住宅耐震化の促進	簡易耐震診断推進事業、及び住まいの耐震化促進事業補助金の活用を推進した住宅の耐震化の促進	令和6年1月の能登半島地震以降、増加傾向にあった申請件数は一段落し、簡易耐震診断、耐震化促進事業ともに例年程度の件数となっている。令和8年度からは、物価上昇等による工事費への影響を反映し、住まいの耐震化促進事業補助金の住宅耐震改修工事費補助及び簡易耐震改修工事費補助については、補助額を引き上げるとともに、引き続き居住者等への積極的な意識啓発活動に努める。	拡充	地域計画課
14	危険ブロック塀撤去	危険ブロック塀撤去の促進	危険ブロック塀撤去補助金の申請は近年減少傾向となっており、一定の役割を終えたと判断し、令和7年度末で補助事業を廃止する。	完了	地域計画課
15	避難所の運営制度検討	避難所運営に係る職員配置の見直し、地域で避難所を自主運営する仕組みの検討	主要6箇所の指定避難所担当について、5班体制から10班体制に変更し職員負担を軽減している。自治会公民館等での自主避難所開設を想定して、備蓄物資の分散配置に取り組んでいる（後川地区、西紀北地区で対応済み）。	現状維持	市民安全課
小目標 2. 地域と共に安心安全の暮らしをつくる			主な分野	安心安全	
該当するSDGsの目標番号		3 すべての人に健康と福祉を	11 住み続けられるまちづくりを	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう
No	事務事業名	事業概要	事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）	今後の方向性	担当課
1	消費生活・法律相談事業	消費生活全般の相談業務及び法律無料相談の実施	令和6年度は227件、令和7年度は270件の消費生活に係る苦情や相談に対し、消費生活相談員が助言や斡旋を行い、問題解決に繋げることができた。また、令和6年度は187件、令和7年度は160件の法律相談に対し、弁護士が無料で市民からの様々な相談や苦情の解決を行った。今後も引き続き、相談体制の充実を図っていく。	現状維持	地域振興課
2	犯罪抑止・防犯事業	警察等と連携した見回りや防犯カメラ等の補助事業の実施	篠山防犯協会に経済的支援をし、警察等と連携した防犯に係る啓発活動等を行い、市民の防犯意識の高揚が図れた。今後も引き続き支援を行い、防犯意識の高揚を図る。また、自治会等への防犯カメラの設置補助事業は、令和6年度は12件の助成を行い、地域の見守り力の向上に繋げることができた。令和7年度は11件を助成し、引き続き地域の見守り力向上を図るため支援していく。	現状維持	地域振興課
3	交通安全対策事業	啓発事業の実施、カーブミラーの設置、街路灯設置	「丹波篠山市交通安全計画」に基づき、交通安全対策を進めている。年間4回の交通安全運動期間中には、自治会交通安全委員による啓発用幟旗の掲示、交通安全指導員、交通安全協会、警察署等による街頭啓発を行っているほか、自治会の要望により、カーブミラーや街路灯を設置するなど、継続的な取り組みを進めている。	現状維持	市民安全課
中目標 ③生活の基盤が整ったまち					
小目標 1. 道路、河川、市営住宅、公園などの適正な維持管理を行う			主な分野	道路、河川など	
該当するSDGsの目標番号		9 産業と技術革新の基盤をつくろう	11 住み続けられるまちづくりを	15 陸の豊かさも守ろう	
No	事務事業名	事業概要	事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）	今後の方向性	担当課
1	橋梁長寿命化修繕計画	橋梁の長寿命化修繕計画に基づく点検及び補修	橋梁長寿命化修繕計画に基づき点検・補修を継続実施する。	現状維持	地域整備課
2	安心安全のための通学路整備	通学路安全対策プログラムによる通学路の整備	学校関係者等との協議・調整により、緊急性の高い箇所の把握・抽出により安全対策を継続実施する。	現状維持	地域整備課
3	生活道路の整備	道路点検による修繕箇所の把握、要望などに基づく修繕の実施	関係自治会などからの要望に対し、道路点検による修繕箇所の把握と実施を継続する。	現状維持	地域整備課

4	被害河川の護岸等修繕	自治会要望による被害護岸等の河川維持修繕	関係自治会などからの要望に対し、河川点検による修繕箇所の把握と実施を継続する。	現状維持	地域整備課
5	集落くらし道整備事業	集落の通り抜け道路と認められる場合のカラー舗装、段差舗装、看板設置	令和7年度は未実施であるが、関係自治会からの要望を随時受け、対象箇所への対策を継続する。併せて対象箇所リスト案や対策年次などの整理を行うとともに、実施箇所の効果を検証する。	現状維持	地域整備課
6	河川等環境整備事業	河川や国県市道草刈りの自治会支援事業	河川愛護や環境保全の観点から実施される地元自治会等による除草作業に対し、報奨金を交付し支援を継続する。	現状維持	地域整備課
7	ふるさとの川再生事業	自然環境を保全・再生し未来につなげていくために、河川環境整備を実施	生態系や自然環境の保全・再生への河川整備に計画的に取り組み、今後は生物的要素に親水的要素を加え、事業展開を継続する。	現状維持	地域整備課
8	ふるさとの水路整備事業補助金による支援	里道、水路への生態系配慮型整備に対する自治会支援	関係自治会からの要望を随時受け、対象箇所への支援を継続する。	現状維持	地域整備課
9	公園施設等管理事業	公園施設や都市公園等の維持管理	令和7年度は三の丸公衆トイレを和式から洋式にする等、設備更新をして利便性を向上させた。安心・安全・清潔・快適に利用できる公園として、公衆トイレや遊具などの維持管理及び修繕整備を継続する。	現状維持	地域整備課
10	都市施設管理事業	J R篠山口駅自由通路及びその周辺施設の維持管理	鉄道で訪れる観光客や通勤通学での利用者が、安全で快適に利用できるよう維持管理・整備を継続する。	現状維持	地域整備課
11	市営駐車場管理事業	城跡周辺の市営駐車場（10か所）指定管理者による運営、市営駐車場の維持管理	令和7年度は河原町駐車場に塀を新設、トイレを和式から洋式にして景観、利便性を向上させた。城跡周辺駐車場を指定管理者制度により運営し、市民や観光客の利便性を維持する。	現状維持	地域整備課
12	市営住宅の子育て優先枠	市営住宅の子育て優先枠による定住促進の推進	定住促進重点地区については募集住戸の過半数（西紀北地区はすべて）を子育て世帯優先枠として募集している。入居決定者の半数は新婚や子育て世帯となっており一定の成果がみられる。	現状維持	地域計画課
13	市営住宅滞納整理	市営住宅使用料の滞納整理	徴収計画に基づき督促や催告、特別徴収を実施しているが収入率が横ばい状態にある。減免制度の周知や分納相談にも応じるとともに、徴収困難案件について法務専門員とも連携していく。	現状維持	地域計画課
14	市営住宅の補修修繕、維持管理計画の推進	用途廃止住宅の移転推奨、市営住宅長寿命化計画に基づく外壁等改修工事、用途廃止住宅の解体工事等	長寿命化計画に基づく外壁等改修工事を実施している。用途廃止住宅入居者については、今後も引き続き移転を促し、移転完了後は速やかに解体工事を実施する。	現状維持	地域計画課
小目標 2. 持続的で安定した上下水道事業を提供する			主な分野	上下水道	
該当するSDGsの目標番号		3すべての人に健康と福祉を 6安全な水とトイレを世界中に 9産業と技術革新の基盤をつくろう 11住み続けられるまちづくりを			
No	事務事業名	事業概要	事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）	今後の方向性	担当課
1	上下水道事業の経営の安定とサービスの持続	上下水道事業経営戦略に基づく経営の安定化	人口減少などによる収益の減少や物価高騰などの資金面での経営課題に対応するため、令和5年度に改定した中長期的な経営計画である「上下水道事業経営戦略」の推進により経営の安定に努める。	現状維持	経営企画課
2	水道施設更新事業	老朽化した機械設備や水道管路の更新工事	経年劣化した浄水場等の機械設備や漏水発生率の高い水道管路の更新を行った。引き続き、機械設備は修繕による長寿命化、水道管路は管種毎に使用年数の延命化、及び更新費用の平準化を図りながら計画的に更新工事を行い、安定した水道水の供給に努める。	現状維持	上下水道課
3	下水道施設ストックマネジメント事業及び統廃合事業等	下水道施設の長寿命化や下水道処理施設統廃合の推進等	下水道施設の長寿命化を図るため、設備の改築・更新工事や処理区の統廃合にかかる管路接続工事を行った。引き続き、費用の平準化を図りながら計画的かつ効率的な事業展開により、快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全を図る。	現状維持	上下水道課
4	小型合併処理浄化槽事業	合併処理浄化槽の適正な管理と維持管理費用等の負担軽減及び公共用水域の水質保全	個別処理区域内の合併処理浄化槽の設置及び更新費用の一部補助並びに修繕や維持管理にかかる費用の負担軽減を図るための一部補助を行った。引き続き、適正管理の推進や維持管理等にかかる費用の一部支援を行い、公共用水域の水質保全を図る。	拡充	上下水道課
5	あさぎり苑のあり方検討	汚泥乾燥施設の費用対効果の検証及び今後の施設のあり方検討	汚泥乾燥施設は供用後13年が経過し、今後多額の改築更新費用が見込まれることに加え、物価高騰による維持管理費用の増加に伴い経費の削減効果が見込めなくなったことから、運転を休止させた。また、し尿汲み取り業務等については、今後の運営方法を引き続き検討する。	完了	上下水道課

小目標		3. 最適な交通網を整備する		主な分野		交通網	
該当するSDGsの目標番号		11 住み続けられるまちづくりを  17 パートナーシップで目標を達成しよう 					
No	事務事業名	事業概要	事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）	今後の方向性	担当課		
1	バスの上限運賃制の導入	市内バス路線の上限運賃設定による利便性の向上	路線バス等について、一律200円の運賃で市内を移動ができるよう継続して実施している。令和7年10月をもってコミュニティバスの運行が休止となり、路線バスのみ制度の対象となっている。路線バス利用促進のため、次年度以降も継続して実施する。	現状維持	創造都市課		
2	公共交通網整備事業	最適な公共交通網の整備、有償運送の実施	A I デマンドバスを東部地域に加えて、市西部地域にも導入し、日常生活に必要な商業施設や医療施設への移動手段の確保及び鉄道や路線バス等の乗継拠点まで送迎することで、持続可能でより利便性の高い公共交通網の整備を目指す。	拡充	創造都市課		
3	観光シーズンの交通渋滞緩和策の検討	観光シーズンの渋滞解消を検討し、観光しやすい環境の整備を行う	インターチェンジからの渋滞緩和のため、迂回路誘導を行っている。また城下町の商店街など混雑時に警備員を配置して、車両通行規制を行うなど安全な丹波篠山観光を促進している。	現状維持	商工観光課		

基本目標 2) すべての人が尊重され、生き生きと暮らせるまちづくり【福祉・健康・教育】

中目標 ①あたたかい心があふれるまち

小目標		1. 安心して受けられる医療と福祉を充実させる		主な分野		地域医療	
該当するSDGsの目標番号							
No	事務事業名	事業概要	事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）	今後の方向性	担当課		
1	新たな医療体制の検討、地域医療体制づくり	令和7年7月に、ささやま医療センターとの協定期限が満了となるにあたり、ささやま医療センターの運営継続が不透明ななか、市内医療提供体制を検討	ささやま医療センターの経営移譲に関して、兵庫医科大学、医療法人社団みどり会、市の3者で交渉・協議を進めている。来年度の早期には経営移譲が実現できるよう交渉及び調整が必要である。また、経営移譲後の医療体制についても協議・調整を行う。	改善	長寿福祉課		
2	地域医療及び医療人材の確保	関係医療機関との情報連携強化、医師会を含めた連携、介護職場の支援金交付、人材確保対策事業	看護師や理学療法士等の医療人材確保を図るとともに市内定住に向けて看護師就学資金貸与を行った。介護・福祉人材については、篠山学園の卒業生を対象に支援金を助成するなど、特に外国人の介護職員確保に向けた取り組みを行った。しかしながら、人口減少とともに、慢性的に医療・介護人材が不足する状況にあり、さらに医師会や関係医療機関との連携を密にし、人材確保に取り組んでいく。	現状維持	長寿福祉課		
3	診療所体制の充実	診療所の安定運営、市内医療機関との連携、医療機器更新	国民健康保険直営診療所4診療所の安定運営のため、医療機器の更新を計画的に行い、市内医療機関との連携を図る。	現状維持	医療保険課		
4	休日診療所事業	休日診療業務を市医師会に委託	感染対策がとれないことから市民センターでの診療を休止。市医師会に業務委託し、にしき記念病院にて診療を行っている。今後の実施体制については、医師会の意向を確認しながら休日診療所運営委員会で検討を継続。	現状維持	健康課		
5	保健事業の充実	データヘルス計画に基づく保健事業の実施	国民健康保険被保険者に対し、特定健康診査及び特定健康診査未受診者対策事業・健康診査異常値放置者受診勧奨事業・糖尿病性腎症重症化予防事業など11の事業を行っている。特に、特定健康診査及び未受診者対策事業について、受診率向上のため、健診受診の重要性の周知を行い、また、受診しやすい健診となるよう環境整備について、検討を行う。	改善	医療保険課		
6	レセプト点検の実施	レセプト点検の実施、医療費通知発送等	国民健康保険の医療費適正化のために行っているレセプト点検や、国民健康保険被保険者に医療費負担のしくみや健康に関する認識を深めていただくため通知している医療費通知の発送を継続して行う。	現状維持	医療保険課		
7	新型コロナワクチン接種事業	新型コロナワクチン接種の実施	令和6年度から定期接種化され、主に高齢者を対象に毎年10月1日～翌年3月31日までの期間に1回接種する事業を実施している。重症化予防、医療費抑制のため継続していく。	現状維持	健康課		
8	コロナ医療対策	これまでに構築した医療システムを稼働し、感染状況に応じた医療体制を構築する	新型コロナ感染症に関わらず、新興感染症等が今後も流行する可能性があるため、市医師会等と協力し、状況に応じた医療体制づくりに努める。	現状維持	健康課		
9	医療的ケア児等の支援	医療的ケア児への訪問看護利用料の助成、給付対象品目の見直し、介護職員等第3号研修費用の助成	医療的ケアの必要な人を対象に、人工呼吸器や吸引器を動かすための電力を常時確保するため、非常用電源となる蓄電池の給付や家族の負担軽減を図ることを目的とする訪問看護利用料の助成を実施する。	現状維持	社会福祉課		

10	ヤングケアラー支援	ヤングケアラーの早期発見や実態把握、啓発活動、研修会等の開催	児童福祉、障がい福祉、高齢者福祉の関係機関間での情報共有、また学校園へのヤングケアラーに対する理解促進のための啓発と連携について周知を行っている。複合的な課題を抱える家庭への支援の継続、早期発見に努める。	現状維持	社会福祉課
小目標 2. 高齢者が元気で生き生きと暮らす			主な分野	高齢者福祉	
該当するSDGsの目標番号		1貧困をなくそう 3すべての人に健康と福祉を 10人や国の不平等をなくそう 11住み続けられるまちづくりを 16平和と公正をすべての人に 17パートナーシップで目標を達成しよう			
No	事務事業名	事業概要	事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）	今後の方向性	担当課
1	認知症一斉啓発事業	認知症に関する一斉啓発事業の実施	9月を「みんなで認知症を考える月間」とし、市内の医療機関、スーパー、高校生、マメに見守り隊など多くの機関の協力のもと一斉啓発を行い、認知症になっても住みやすいまちづくりを多くの機関が支援していることをPRしている。毎年実施することで関係機関とも連携が生まれている。	現状維持	長寿福祉課
2	在宅医療・介護連携推進事業	在宅医療・介護連携の推進、つながり手帳の評価、医療と福祉の連携	篠山つながり手帳により、医療機関と介護サービス事業所等との連携がとれているが、今後は、更に適切な時に必要な情報の連携ができるよう、篠山つながり手帳の電子化について検討を進めている。また、医療職と介護職・福祉職の顔の見える関係作り、質の向上等を目的とした連携会議を継続して実施していく。	改善	長寿福祉課
3	市民フォーラムの開催	終末期医療介護の在り方への理解を進めるため市民フォーラムを開催する	令和6年度については、専門職が終末期医療や人生会議への関わり方を理解するために、専門職を対象とした研修会や事例検討会を開催した。令和7年度には、誰もが自分らしく生きていくための「人生会議」の必要性を広く周知するために市民フォーラムを開催する。	現状維持	長寿福祉課
4	地域ケア会議の開催	地域ケア会議の開催による課題の検討やネットワークの構築	地域包括支援センターが開催する個別地域ケア会議（個別の課題を地域の関係者を交えて話し合う）を通じて課題解決を図るとともに、その蓄積された課題を地域の課題ととらえ、社会福祉協議会や健康課等と一緒に関係機関と連携しながら課題解決に向けた検討を行っており、今後も同様に進めていく。	現状維持	長寿福祉課
5	敬老事業の実施	長寿をお祝いし、米寿・百賀・101歳以上の方に記念品とお祝状を贈呈する。また、老人福祉施設等で開催される敬老事業に対して補助を行う	101歳以上の方で希望者には市長が訪問しお祝いすることができた。米寿・百賀の方へは地域の敬老会で贈呈いただいた。地域での敬老会については、コロナ禍では特例措置として開催を見送った場合でも補助対象としたが、令和5年度からは従来どおり住民同士が顔を合わせての敬老会の開催を補助対象としている。	現状維持	長寿福祉課
6	各種高齢者福祉サービスの実施	高齢者タクシー助成や外出支援サービス等の周知啓発及び実施	高齢者福祉サービス一覧を文書発送時に同封したり、窓口の待ち時間に見ていただくなど工夫している。	現状維持	長寿福祉課
7	高齢者保健事業と介護予防の一体的実施	高齢者への様々な保健事業を一体的に実施し、ハイリスク・ポピュレーション両アプローチによりフレイル対策を強化	高齢者への保健事業に関し、国保保健事業や介護予防事業など、年代や保険種別で区分されることなく一体的に保健事業を実施。ハイリスクでは低栄養や口腔機能低下者への個別訪問、また、医療や健診・介護情報などで健康状態が確認できない方の把握を実施。ポピュレーションではさらに地域でのフレイル予防啓発と高齢者の把握を進めるため、19地区単位での介護予防健診（フレイルチェック）を計画的に展開する。	拡充	医療保険課 健康課 長寿福祉課 社会福祉課
8	地域包括ケアシステムの構築	医療・介護連携や高齢者保健事業と介護予防の一体的実施等を推進し、地域包括ケアシステムを構築	今後、少子高齢化が更に進む中、必要な人が必要な時に介護や医療が利用できるためには、専門機関だけでなく、高齢者本人も介護予防に取り組み、住民同士のお互い様活動を進めていく必要がある。そのため、これまでからの医療・介護連携や高齢者保健事業と介護予防の一体的実施等の推進を今後も継続する。	現状維持	長寿福祉課 医療保険課 健康課 社会福祉課
9	老人会組織の支援	単位老人クラブ、市老人クラブ連合会が行う事業への補助金交付及び補助金事務支援	少子高齢化が進む中で、地域を基盤とする高齢者の自主的な組織として「老人クラブ」の果たす役割は重要であり、高齢者の生きがいがいづくりや健康づくり、介護予防事業など、健康で自立した活動が行われている。また、長年の知識や教養を活かして地域社会活動を展開するため単位クラブ・支部・市連合会が組織されており、その活動に対し補助金の交付を行った。次年度は、補助額に市単独による活動強化推進加算を加えて、より一層の活動推進を図っていく。	拡充	長寿福祉課
10	第9期介護保険事業計画に基づく事業の実施	高齢者の自立支援、重度化防止や医療介護連携の推進、介護保険サービス等の適正な利用	令和7年度は第9期（令和6～8年度）介護保険事業計画に基づき、地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取り組みの充実を進めている。また第10期（令和9～11年度）介護保険事業計画策定に向け、市民へのニーズ調査や介護サービス事業所への聞き取り等を実施した。令和8年度は、その結果を基に第10期介護保険事業計画を策定する。	現状維持	長寿福祉課
11	高齢者等買い物支援事業	高齢者等が食料品等を確保しやすくするため、登録事業者の個別配達経費の一部を支援する	令和6年度には、約2,700件の配達支援を行い、高齢者等の食料品等確保に寄与することができた。令和7年度においても概ね、同水準で配達件数は推移しており、引き続き、支援をしていく。	現状維持	地域振興課

	12	介護予防事業	地区いきいき塾の実施及びいきいき倶楽部の立ち上げ・継続支援の実施	新規参加者が増えている地区もあるが、地区によって参加者が少ない地区もあるため、今後もいきいき塾の周知・啓発が課題である。また、元気を回復された方などが地域で継続して介護予防に取り組めるよう、いきいき倶楽部の立ち上げや継続支援を引き続き行っていく。	現状維持	健康課
小目標 3. 障がいのある人が地域で生き生きと暮らす				主な分野	障がい福祉	
該当するSDGsの目標番号			1貧困をなくそう 2飢餓をゼロに 3すべての人に健康と福祉を 4質の高い教育をみんなに 11住み続けられるまちづくりを 16平和と公正をすべての人に 17パートナーシップで目標を達成しよう			
No	事務事業名		事業概要	事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）	今後の方向性	担当課
1	障がい者（児）への相談支援事業		基幹相談支援センターを軸とした障がいのある人への相談及び支援	2名の相談員による障がいのある人や家族、支援者への支援を専門的・継続的に行うことで、必要なサービスにつながっている。生きづらさを抱える人や自らSOSを出すことが難しく社会から孤立する人が増える傾向であり、より丁寧に支援していくために、基幹相談支援センターの運営を継続していく。	現状維持	社会福祉課
2	障がい者支援事業		障がい者自立支援給付や補装具等の給付、スマイルささやまの運営	スマイルささやまの適切な運営や障がい福祉サービス事業所が増加しサービス量が充実していることから、障がいのある方が概ね必要なサービスを受けられていると推測される。また補装具給付も適切に提供できている。一方で、昨今の物価高騰に伴い人件費も高騰していることから、給付費の確保が課題である。	現状維持	社会福祉課
3	障がい児支援事業		児童発達支援事業等の児童サービス給付や補装具等の給付、児童発達支援センターの運営	児童発達支援センターの適切な運営や障がい児福祉サービス事業所が増加しサービス量が充実していることから、療育に課題のある方等が概ね必要なサービスを受けられていると推測される。また補装具給付も適切に提供できている。一方で、昨今の物価高騰に伴い人件費も高騰していることから、給付費の確保が課題である。	現状維持	社会福祉課
4	障がいのある人の社会参加促進及び理解啓発事業		「みんなの手話言語条例」に基づく手話の理解と普及や「障害者スポーツフェスティバル」の開催、市民主体開催の「兵庫・丹波篠山とっておきの音楽祭」への支援等の実施	「みんなの手話言語条例」に規定されている手話施策推進方針に基づき、手話の理解と普及が進んできている。また市民主体でスポーツや文化活動への支援も取り組んでいる。	現状維持	社会福祉課
5	障がい者手帳診断書作成費助成事業		障がい者手帳交付申請の診断書作成料金の一部補助	心身障がい者等が障害者手帳の交付申請に必要な診断書を取得するために要する経費負担の軽減を図れている。今後も継続して取り組んでいく。	現状維持	社会福祉課
6	窓口の聞こえの支援		窓口での集音器設置	市役所窓口に来られた難聴者の方などへの対応として、庁舎内に「集音器」を常備し、円滑にコミュニケーションが取れるようにした。今後も継続して取り組んでいく。	現状維持	社会福祉課
小目標 4. 人権を尊重したあたたかいまちをつくる				主な分野	人権尊重	
該当するSDGsの目標番号			1貧困をなくそう 2飢餓をゼロに 3すべての人に健康と福祉を 4質の高い教育をみんなに 5ジェンダー平等を実現しよう 10人や国の不平等をなくそう 16平和と公正をすべての人に 17パートナーシップで目標を達成しよう			
No	事務事業名		事業概要	事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）	今後の方向性	担当課
1	事前登録型本人通知制度事業		事前登録型本人通知制度の登録推進	本人通知制度の登録者を増やすため、住民学習や講演会で啓発及び受付を行った。登録者2,000人を目標とする中、令和8年3月末で1,875人の登録となっている。	現状維持	人権推進課 市民課
2	あいさつ運動啓発事業		市民あげてのあいさつ運動の取り組み、支援	「いいあいさつの日」、春と冬の「あいさつ運動強化週間」、啓発ポスターコンクールなどの実施により確実にあいさつの輪は広がっている。	現状維持	人権推進課
3	人権尊重のまちづくり事業		人権尊重のあたたかいまちづくりの推進、住民学習の支援事業	若い世代へ人権課題について周知することが課題である。住民学習については、「人権のまちづくり推進員」「人権啓発推進員」「住民学習支援員（職員）」を対象に事前研修会を実施するなど円滑に住民学習が実施できるよう推進した。	現状維持	人権推進課
4	男女共同参画事業		男女共同参画社会の実現に向けた意識の啓発や支援の実施	各自治会の男女共同参画推進員や市民に参加を呼びかけ、講演会などの企画運営を行う。また、女性の活躍を促進する啓発や支援についても、継続して実施する。男女共同参画プラン（令和4～13年度）について、社会情勢の変化や施策の進捗に応じて、令和8年度に見直しを行う。	現状維持	人権推進課
5	パートナーシップ宣誓制度		性の多様性を尊重するためパートナーシップ宣誓制度を導入	令和5年4月制度導入済み。兵庫県や近隣他府県、県内市町との連携を行い、引き続きこの制度を利用したサービスの拡充や必要とされている方への周知を進めていく。	完了	人権推進課

中目標 ②健康に生き生きと暮らせるまち						
小目標	1. 健康でふれあいと笑顔があふれるまちをめざす			主な分野		健康増進
該当するSDGsの目標番号		3 すべての人に健康と福祉を	11 住み続けられるまちづくりを	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	
No	事務事業名	事業概要		事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）	今後の方向性	担当課
1	ふくし総合相談の推進	ふくし総合相談窓口を中心とした継続した相談支援と支援機関・地域の関係者がつながり続ける支援体制を構築する重層的支援体制整備事業の令和7年度本格実施に向けた準備事業の実施		令和7年度から重層的支援体制整備事業の本格実施を開始し、多機関協働事業では、複雑・複合ケースの支援調整を行い、アウトリーチ等継続支援事業や参加支援事業では、対象者に合った支援に結びつけることができる体制を整えるために、対象者等への支援を進めつつ、関係機関へ本事業の周知や理解を進めるための意見交換を行っている。今後は、更に周知・啓発を進めていく。	拡充	長寿福祉課
2	防災と福祉の連携促進の取り組み	避難行動要支援者の見守り台帳整備、災害時ケアプラン作成、実効性の高い避難訓練の実施		平時からご近所や地域とつながり社会的孤立を防ぐことで、災害時にも命を守る取り組みとして、見守り台帳と災害時ケアプランの作成を行ったが、地域に支援を求めないケースが増え、特に重度の方の災害時ケアプラン作成が進んでいない。今後は関係者の理解を深めながらより丁寧に説明し作成を進める。 見守り台帳と災害時ケアプランを用いた避難訓練は、回数を増やせないため、本事業の意図を取り入れた住民学習を令和6年度から開始し、啓発に努めている。	改善	長寿福祉課 社会福祉課 市民安全課
3	小児インフルエンザ予防接種	小児インフルエンザ予防接種の実施		例年10月から1月にかけて事業を実施している。流行の時期により接種率の変動はあるが、下がっている傾向にある。学級閉鎖や医療費抑制のため、啓発に努め事業継続していく。	現状維持	健康課
4	風疹抗体検査、予防接種	男性の風疹抗体検査と予防接種の実施（令和4年度から3年間延長）		令和元年度から令和3年度まで、その後令和6年度まで延長となり6年間実施し事業は終了となる。毎年1回は未受診者に対し勧奨・啓発を行っており、受診率は40％程度である。	完了	健康課
5	胃内視鏡検診	胃内視鏡検診の実施		胃がん死亡率減少効果のある胃内視鏡検診を、市内7医療機関において、50・55・60・65・70歳の節目年齢を対象に実施。	現状維持	健康課
6	糖尿病等重症化予防	糖尿病等重症化予防対策事業の充実		糖尿病や糖尿病性腎症重症化の予防のため、未治療や治療中断者への受診勧奨や、治療中者への保健指導介入を医師会等の協力を得ながら実施。広く市民への啓発を進めるため、毎年市民向け講演会を開催。令和6年に国のプログラムが改訂され、プログラムに沿った事業を実施。	現状維持	健康課 医療保険課
7	ピロリ菌検診事業	ピロリ菌検診事業等各種検診実施体制の充実		中学生を対象にピロリ菌抗体検診を実施し受診率は約95％である。成人を対象にした「胃がんリスク検診」も実施し、幅広い年齢層に対し、胃がんの早期発見・予防医療につなげ、「胃がんゼロのまち」を目指す。	現状維持	健康課
8	ピンクリボン運動の実施	ピンクリボン運動に合わせ、検診機会を増やし積極的な乳がん予防に取り組む		全国で毎年10月に展開されているマンモグラフィーサンデーに合わせて、市内2医療機関で10～11月に休日の検診を実施し、平日忙しく受診しにくい方への検診の機会としている。今後、さらに乳がんの予防啓発に努める。	現状維持	健康課
9	お産応援事業	出産支援金支給事業、お産応援119（妊婦救急搬送事業）、タマル産婦人科との連携協定、マイ助産師による産前産後ケアの実施		すべての妊婦、子育て家庭のニーズに即した効果的な支援につなげるため、お産応援事業を実施している。今後も、安心して出産・子育てができる環境が維持できるよう継続していく。	現状維持	健康課
10	がん患者アピアランスサポート事業	がん治療の薬物療法の副作用等を補完する補装具の購入助成		がん治療中・治療後も安心して学業・就業に専念できるよう外見変貌を補完する補正具の購入費用の一部を助成している。毎年8～12人に助成しており、今後も事業の周知啓発に努める。	現状維持	健康課
11	子宮頸がんワクチン予防接種事業	積極的勧奨を差し控えていた年代の子宮頸がんワクチン接種を公費で実施（キャッチアップ接種）		平成25年6月より積極的勧奨を差し控えていたが、令和4年4月より再開となり、定期接種の対象である中学1年生から高校1年生までの女性に通知を行った。また、平成25年～令和3年まで接種対象であった女性に対し、接種の機会を確保するため、令和4年度から令和6年度までの3年間の時限付きで公費の予防接種を実施。特に最終年度の令和6年度は接種者が急増し、ワクチンの供給不足により令和6年度1回でも接種された方に対し、令和7年度追加接種をしている。	完了	健康課
12	帯状疱疹ワクチン助成事業	帯状疱疹ワクチン（任意接種）の接種費用助成		50歳以上の接種を希望される方を対象に令和6年5月から事業開始。令和6年度から事業に対する県の補助が始まり令和7年度は対象年齢を「50歳以上60歳以下」として1年間限りで実施する。	完了	健康課

小目標		2. 食育で人を育み、まちをつくる		主な分野			食育
該当するSDGsの目標番号		1貧困をなくそう 2飢餓をゼロに 3すべての人に健康と福祉を 4質の高い教育をみんなに 12つくる責任つかう責任 14海の豊かさを守ろう 15陸の豊かさを守ろう 17パートナーシップで目標を達成しよう					
		No	事務事業名	事業概要	事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）	今後の方向性	担当課
該当するSDGsの目標番号		1	子どもの食の応援事業の実施	ひとり親家庭や低所得子育て世帯等、多様かつ複合的な困難を抱える子どもたちを含む、市内の子どもや保護者を対象に食事の提供や居場所づくりを実施する団体への補助	令和6年度8団体（参加者のべ3,327名）への補助を行った。新型コロナ対策も落ち着いたことから、令和7年度は補助制度の内容を見直し、8団体への補助を予定。本年度から新しく子ども食堂の事業を始める団体もある。	現状維持	社会福祉課
		2	食育推進事業	第4次食育推進計画の推進	令和5年3月末に第4次食育推進計画を策定。SDGsの視点から持続可能な食育の推進や新しい生活様式、デジタル化に対応した食育など新たな視点を加え、家庭、学校、地域、関係機関が連携、協働しながら食育をすすめている。	現状維持	健康課
		3	学校給食の充実と食育の推進	地元食材や特産品である黒枝豆、農都のめぐみ米等を活用した丹波篠山らしい特色ある献立づくりなどを通じた学校給食の充実	学校給食の主食となる白飯には、農業や化学肥料をできるだけ使用しない等の方法で栽培された「農都のめぐみ米」を使用している。地元野菜の使用については、安定的な使用及び活用率向上のため、関係機関及び団体と連携している。	現状維持	学校給食センター
		4	学校給食献立レシピ本を活用した食育	献立レシピ本の概要版を市内児童生徒に配布し、食育について学ぶ機会を提供する	学校や園で開催される給食試食会や栄養教諭による食に関する指導、夏休みに行う給食メニューの調理体験を通し、学校・家庭・地域への食に対する理解を深めている。	現状維持	学校給食センター
		5	施設改修・設備等更新業務	施設の改修や、厨房機器・配送車等の更新	必要な施設改修や厨房機器の入れ替えを適宜行っており、配送車についても、更新計画により入れ替えを行っている。	現状維持	学校給食センター
		6	保育園等の3歳児完全給食の実施	保育園、こども園の3歳児への完全給食の提供	令和4年度より全国完全給食に切り替え、提供開始済。	完了	保育教育課
小目標		3. 社会保障制度と権利擁護で生活を守る		主な分野			社会保障、権利擁護
該当するSDGsの目標番号		1貧困をなくそう 2飢餓をゼロに 3すべての人に健康と福祉を 4質の高い教育をみんなに 6安全な水とトイレを世界中に 8働きがいも経済成長も 10人や国の不平等をなくそう 11住み続けられるまちづくりを 16平和と公正をすべての人に 17パートナーシップで目標を達成しよう					
		No	事務事業名	事業概要	事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）	今後の方向性	担当課
該当するSDGsの目標番号		1	生活困窮者支援	生活困窮者支援事業の実施	令和7年度上半期においては、新規相談数24件、延べ相談支援数875件の支援を実施した。今後も本事業を継続実施し、高齢による離職や傷病・会社都合での離職等様々な事情により困窮状態が危惧される方が、その状況を解決できるよう支援を行う。	現状維持	社会福祉課
		2	ひきこもり支援推進事業	ひきこもりの状態にある方やその家族への支援の実施	定期的にひきこもり状態にある方の実態把握調査を実施し、関係機関と連携しながら個別支援を実施している。ひきこもり状態が長期化することで、生活困窮や家族の高齢化・孤立化等課題が複雑化するため、今年度は、家族対象とした家族支援プログラムを開催した。今後も継続的に実施し、本人・家族の関係性の修復を図る。また、ひきこもり支援検討委員会を開催し、関係機関の連携強化・支援体制の構築を図る。	現状維持	長寿福祉課
		3	自殺対策事業	自殺対策事業の実施	令和7年3月に策定した第2次自殺対策計画に基づき、庁内及び関係機関と連携を図りながら事業を推進している。平成29年以降、国・県に比べ低い値で推移していたが、令和6年は12人の自殺者数があり、長期的にみると、自殺者数は増減を繰り返している。特に40～50代の働き盛り世代の自殺率が高い傾向にあり、今後も相談支援の充実、働き世代にも関心を持ってもらうような啓発活動等の取組みを実施していく。	現状維持	長寿福祉課
		4	生理用品サポート事業（つばめプロジェクト）	生理用品の無償配布を実施し、背景にある困りごとの相談に応じる	年間数名の方が受け取りに来られている。困りごとを相談できる場として繋がっていきけるよう、庁内関係各課と連携しながら、今後も継続して実施していく。	現状維持	健康課

中目標 ③子育て・子育ての環境が整ったまち						
小目標		1. 子どもの心身の健全な育ちを支援する		主な分野		子育て
該当するSDGsの目標番号		1貧困をなくそう 2飢餓をゼロに 3すべての人に健康と福祉を 4質の高い教育をみんなに 5ジェンダー平等を實現しよう 10人や国の不平等をなくそう 16平和と公正をすべての人に 17パートナーシップで目標を達成しよう				
No	事務事業名	事業概要	事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）	今後の方向性	担当課	
1	遊具等設置補助事業	児童へ健全な遊び場の確保、危険個所での事故防止対応	令和6年度は、補助金を交付した自治会はありませんでしたが、令和7年度は、遊具等設置された4自治会に補助金交付を実施した。引き続き適切な遊具等管理が図られるよう支援していく。	現状維持	地域振興課	
2	18歳までの医療費の助成	子育て世帯の負担軽減のため、18歳到達年度末までの医療費助成等の実施	令和7年度まで実施の0歳から18歳到達年度の子どもの医療費無償化及び、医療費助成を引き続き行う。入院医療費は完全無償化。通院医療費は、中学3年生までの子どもは無償化、高校生等（中学卒業後から18歳到達年度末まで）の子どもは、通院医療費の助成（1医療機関あたり1日800円月2回までの自己負担有）を実施。 今後とも子どもの医療費助成を継続していくため、国及び県へ助成制度及び財政支援の拡充について、要望を継続していく。	現状維持	医療保険課	
3	出産祝金事業	市内在住の第3子以降の出産に対し、出産祝金を支給	令和7年度より事業を見直し、第3子以降の出産に対し、祝金を支給する。出生数は減少傾向にあるが、市内で子育てをする選択をしてもらえるよう、健康課の事業と合わせて経済的な支援を継続する。	現状維持	社会福祉課	
4	赤ちゃんの駅設置事業	赤ちゃんの駅の周知及び拡大、設備整備に対する補助金の交付	現在36の施設を登録している。市内で子育て世代が施設を利用しやすい環境をつくるため、今後も継続して登録施設を増やせるよう広報を続けていく。	現状維持	子育て企画課	
5	おいでよさっ子遊具設置事業の実施	旧小学校区ごとに遊具を設置し、子どもの遊び場を整備	令和7年度設置予定の1地区を含め10地区で設置が完了する。令和8年度については、新たに1地区での設置を計画していることから、地域の意見等を踏まえ、設置地区を選定していく。	改善	子育て企画課	
6	地域子育て支援拠点事業	地域の子育て支援機能の充実を図り、子育てふれあいセンター等で子育て支援事業を実施	就学前の子どもと保護者の利用ニーズに応じて、さまざまな事業を実施している。令和8年度から、新たに丹波篠山アグリステーションを支援し、地域の子育て支援機能の充実を図る。	拡充	子育て企画課 人権推進課	
7	子育て世帯への育児支援の充実	こども家庭センターふたばにおける子育て支援の充実	妊娠から出産、子育て期にわたる切れ目のない支援の充実を目指し、保健師・助産師を中心に一人一人に寄り添い、必要な機関と連携しながら妊娠中からの継続支援を行っている。令和7年度からはこども家庭センターを設置し母子保健・児童福祉機能の連携を深め、一体的な組織として切れ目なく、また誰も取りこぼすことなく子育て家庭に対する支援を行っている。	現状維持	健康課	
8	不妊治療助成	不妊治療に係る夫婦の経済負担の軽減を図り、安心して子どもを産み育てる環境整備を実施	令和2年4月から一般不妊治療の助成を行っている。今後も精神的・経済的負担の軽減を図れるよう継続して実施していく。	現状維持	健康課	
9	妊婦健康診査費補助事業	妊婦健康診査の機会の確保と普及を図るため費用助成を行う	母子の健康を守り、安心して出産を迎えるために妊婦一人につき12万円を助成（双胎児には5万円の追加補助）を行っている。また、令和6年度から低所得者の妊婦に対する経済的負担の軽減と必要な支援につなげるため、初回の産科受診料について1万円を上限に助成している。	現状維持	健康課	
10	妊婦歯科検診	妊婦とその夫への歯科検診の実施により、歯周病予防や赤ちゃんの虫歯予防を行い、若い世代からの口の健康を守る	妊婦の歯科健診受診率は県平均より高いが、それに比べ夫の歯科健診受診率は低いことが課題である。妊婦とその夫への歯科健診を引き続き実施し、父母のむし歯や歯周病を予防し、生まれてくる児の虫歯予防及び若い世代の口の健康を守る。	現状維持	健康課	
11	子どもの根っこを育てる環境づくり	ふた葉プロジェクトの推進、家庭と連携した子育て環境の確立	子どもの基本的な生活習慣の確立に向けて取り組むふた葉プロジェクトの推進にあたっては、「眠育・食育・あそび」を総合的に推進する必要がある。推進にあたっては家庭での取組も大切であるため、パンフレットを配布するなど、今後も継続して周知に努めていく。	現状維持	子育て企画課	
12	子育ていちばんPR事業	子育て支援やイベントの効果的な発信周知	子育てに関する情報をまとめた「ささっすくすくガイド」を発行するほか、Instagramを活用して旬のイベント情報等を発信していくなど、様々なツールを用いて情報発信をしていく。	現状維持	子育て企画課	

	13	子ども・子育て支援事業計画	第3期丹波篠山市子ども・子育て支援事業計画の推進	令和7年度から令和11年度までの5年間の幼児期の教育・保育・地域の子育て支援についての需給計画を策定している。今後は各施策や事業進捗状況を把握・点検するとともに、国や県の動向を踏まえて、必要に応じて修正を行っている。	現状維持	子育て企画課
	14	こども計画	(仮称)丹波篠山市こども計画の策定	令和7年度中に子ども・若者への支援策を総合的に推進するための具体的な方向や取り組みを定める計画を策定することとしている。子ども・子育て会議での諮問やパブリックコメント等を経て令和8年3月までに完成させる。	拡充	子育て企画課
小目標 2. 多様なニーズに応じた教育・保育を提供する				主な分野		保育・幼児教育
該当するSDGsの目標番号			3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 10 人や国の不平等をなくそう 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナースHIPで目標を達成しよう			
No	事務事業名	事業概要		事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）	今後の方向性	担当課
	1 放課後児童健全育成事業の充実	保護者の就労等による学童保育の実施、児童クラブの施設長設置		令和4年度から複数クラスのあるクラブには順次施設長を設置。今後も安心して過ごせる生活の場を提供し、保護者の子育てと就労等との両立支援を図る。	現状維持	子育て企画課
	2 病児保育事業の実施	子どもの病気の際に自宅保育が困難な場合の病児保育室での一時的な保育の実施		令和4年度から利用時間の拡充やきょうだい同日利用時の利用料金の減額による保護者の負担軽減などを実施した。今後も保護者の子育てと就労等との両立支援を図るため、受入れ体制・利用しやすい環境を整える。また、令和8年度からオンライン予約システムを更新し、24時間、予約やキャンセルの受付ができるよう改善し利便性の向上を図る。	改善	子育て企画課
	3 預かり保育の充実	保護者の就労等による預かり保育の実施		保護者の就労支援等を目的に全幼稚園に対し、降園後及び長期休業中の預かり保育事業を今後も継続して実施する。	現状維持	保育教育課
	4 待機児童対策	待機児童増加に係る県待機児童対策協議会の参加、遠距離通所補助金の交付、保育人材の確保に向けた取組の実施		遠距離通所をされている保護者に対し補助金を交付し令和7年度において、補助金を5世帯に交付決定した。令和8年度から同補助金の交付額の見直しを行いつつ、HPやSNS、チラシを活用し情報発信に努めていく。また、就職フェア、園見学ツアーを実施するなど人材確保に努め、待機児童の解消に向けて取り組む。令和7年度は待機児童が0人になったことから、引き続きこれらの事業に取り組んでいく。	改善	保育教育課 子育て企画課
中目標 ④子どもから大人まで学び続けられるまち						
小目標 1. 学校教育、学習環境を充実させる				主な分野		学校教育、学習環境
該当するSDGsの目標番号			3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 10 人や国の不平等をなくそう 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナースHIPで目標を達成しよう			
No	事務事業名	事業概要		事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）	今後の方向性	担当課
	1 中学校部活動支援事業	部活動指導員の配置、部活動地域展開に係る地域指導者等との協力体制の構築		令和8年度から、休日の部活動指導を原則教職員が従事しなくてもよい環境を構築するべく、地域展開と地域連携を進める。地域展開では、ソフトボール部、ホッケー部、剣道部、サッカー部が地域クラブ化し、特に土日の運営についてクラブ主体で運営している。それ以外は地域連携として、部活動指導員を各校に配置し、教職員と連携して専門的指導を実施している。今後は、さらに地域クラブ活動の推進及びまた部活動指導員を増員して土日の部活動指導体制の充実をはかり、中学生の持続可能な活動機会の確保と教職員の働き方改革に努める。	拡充	学校教育課
	2 確かな学力の確立	本市の実態を把握するための学力調査等の実施、確かな学力の定着に向けたプロジェクト事業の実施		調査結果から学力や生活習慣、学級集団の現状と課題について分析する。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の方向性として「探究的な学び」を重視し、継続して授業改善に取り組む。	現状維持	教育研究所
	3 特別支援教育の充実	教育支援委員会の実施、特別支援教育に係る研修会の実施、医療的ケアを必要とする児童生徒等への支援、特別支援教育支援員の配置等		発達に課題のある児童生徒等の適切な就学に向け、教育支援委員会における各学校園への訪問調査及び教育相談会を実施する。特別支援教育研修会については、教師の専門性の向上を目的に実施しており、具体的な支援方法や実践の交流等、学校現場で活用できる内容の研修を提案する。医療的ケア対象児童生徒等が安心・安全に登校できるために、丹波篠山市立学校園医療的ケアガイドラインに則り、質の高い支援を継続的に提供できる体制を整備する。	現状維持	学校教育課
	4 学校施設の改修	学校施設の外壁等改修の計画的な実施、工事・修繕		学校施設の長寿命化計画に基づき、計画的に工事を実施している。学校行事等に配慮する必要があるため、工期の遅延が生じる場合があるが、学校と調整を行い、できる限り工期内完了に努める。	現状維持	教育総務課

5	スクールバスの運行管理	スクールバスの更新、夏季の遠距離通学児童の下校時運行	スクールバスは予定車両が受注停止状態のため来年度更新とする。夏季期間中の下校時運行は、厳しい暑さから児童の安全を確保するため、令和8年度も実施する。	現状維持	教育総務課
6	中高連携事業	中高連携による相互連携、情報発信活動、高校支援事業の実施、高校支援交付金、通学支援の実施	中学校及び高校と連携し、高校が各中学校を訪問し、中学3年生を対象に学校紹介を行い、オープンハイスクールへの参加を呼び掛ける等、市内高校の魅力づくりへの支援や学校紹介等に取り組んだ。引き続き、市内高校の再認知に向け取り組んでいく。	現状維持	教育総務課
7	情報活用能力の育成	GIGAスクール構想の実現に向けた一人一台端末の活用、デジタル教科書の導入、教職員の研修・支援	GIGAスクール構想が第2期を迎え、次期学習指導要領が検討されている中、一人一台端末やICT、生成AI等の活用の重要性がさらに増している。このことに合わせ、本市においては一人一台端末やネットワーク環境等の更新を確実に進める。また、現在活用が進んでいるデジタル教科書やデジタル教材、生成AI等の利活用をさらに進め、個別最適な学び・協働的な学びの充実を図る。そのための教職員研修も充実させる。	拡充	教育研究所
小目標 2. 郷土を愛し誇りに思う人材を育成する			主な分野	ふるさと教育	
該当するSDGsの目標番号		3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナーシップで目標を達成しよう			
No	事務事業名	事業概要	事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）	今後の方向性	担当課
1	市長の学校訪問事業	市長の市内学校等への訪問、学校教育施策の充実	将来の丹波篠山市を担う児童・生徒と市長が、授業を通して直接対話を行い、「ふるさと丹波篠山」を大切にする意識の向上や、市政への興味や関心を高めるため、毎年市内の小中学校を訪問している。令和6年度は15校を訪問し、588人の児童・生徒に授業を行った。	現状維持	市長公室
2	ふるさと丹波篠山を愛する心の育成	ふるさと創生奨学金の貸与	ふるさと創生奨学金基金を活用し、進学を希望するにもかかわらず経済的理由により修学困難な生徒に対して、奨学金を貸与した。引き続き、向学心に燃え、ふるさとに誇りを持ち、地域社会に貢献できる人材を育成していく。	現状維持	教育総務課
小目標 3. 子どもの学びを支える環境をつくる			主な分野	社会教育	
該当するSDGsの目標番号		1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 4 質の高い教育をみんなに 10 人や国の不平等をなくそう 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナーシップで目標を達成しよう			
No	事務事業名	事業概要	事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）	今後の方向性	担当課
1	チルドレンズミュージアム事業	市民に親しまれるチルドレンズミュージアムの運用を行う	令和7年度に令和8年度から5年間の指定管理者の選定を行った。コロナ禍前の地元イベント等の復活もあり、利用人数は年々増加しているため、今後も運営状況を適切に把握し、施設老朽化等に対して必要な措置を講じていく。	現状維持	子育て企画課
2	いじめ対策、要保護児童対策	いじめ対策委員会や家庭児童相談室の設置運営、いじめの重大事態及び児童虐待の防止	要保護児童対策として要保護児童対策地域協議会の事務局運営、家庭児童相談室にて相談員による相談受付を行っている。また子どものいじめの防止等に関する条例に基づき、重大事態への対処又は当該重大事態と同種の事態の発生防止のため、市長の附属機関として子どものいじめ対策委員会を設置した。	現状維持	社会福祉課
3	家庭の教育力の向上	家庭教育の環境づくりや学校園・家庭・地域が連携・協働した社会総掛かりの教育の推進、子育て環境づくりのための情報交換・仲間づくりの機会の提供	青少年協議会・PTA協議会・子ども会連絡協議会・子どもの居場所づくり推進協議会の事務局を担い、令和7年度も各団体において、懇談会や研修等を実施している。ただ、コロナ禍の間に各団体の存在意義や各行事の在り方について、意見がより多様化してきていることから、今後、団体・在り方の見直しを行いながらも、気運の醸成を図っていく必要がある。	改善	社会教育・文化財課
4	篠山・たまみず・岡野幼稚園のあり方検討会	3幼稚園区の保育・教育のあり方について検討する	3幼稚園を令和9年4月に篠山幼稚園の場所に統合することを決定した。今後は統合園を名称の検討や、開園に向けた準備を進める必要がある。	現状維持	子育て企画課
5	城東保育園、かやのみ幼稚園のあり方検討	城東保育園、かやのみ幼稚園のあり方について検討する	令和9年4月の開園に向けて、保護者や地域、現場職員の意見を聞きながら事業を進めていく必要がある。	現状維持	子育て企画課
6	味間こども園送迎時保護者確認対策	保護者確認人員の配置や開錠子機導入等による安全対策の実施	令和4年度よりシルバー人材センターへ委託し、保護者確認を実施済み。	完了	保育教育課

小目標 4. 人生100年時代を豊かに生きる学びを推進する			主な分野				生涯学習	
該当するSDGsの目標番号								
No	事務事業名	事業概要		事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）			今後の方向性	担当課
1	多様な公民館活動	高齢者大学や各種講座、はたちのつどい、文化活動等の実施、社会教育団体の支援		高齢者の就業継続など生活環境の変化に伴い受講者数が伸び悩んでいる講座もある。ライフステージに応じた多様な魅力的な講座や事業を提供する。			現状維持	中央公民館
2	生涯学習拠点施設の環境整備	安全で快適に利用できる社会教育施設であるため、更新、改修等の環境整備を行う		各施設では経年による劣化が生じている。また、社会の変化に対応するため更新を要する設備もある。計画的に更新や改修を進める。			現状維持	中央公民館
3	主体的に生きるための学びと場の充実	外国人住民に対する学習支援、障がい者社会学級の運営支援		篠山国際理解センターに委託し、各国の習慣や文化等について学ぶ機会となる国際理解教育プログラムの作成、外国人住民を対象とした日本語教室「うりぼう」・外国につながる子ども（外国籍児童生徒及び日本国籍であるものの両親のどちらかが外国籍である児童生徒）を対象とした学習支援教室「うりぼうくらぶ」を実施している。市内在住の外国人が年々増加している中、受講者に応じ充実した学習支援を継続的に行っていく必要がある。			現状維持	社会教育・文化財課
4	図書館ビジョンによる図書館運営	図書館ビジョンに基づく誰もが快適に利用できる図書館を目指す		「第2次図書館ビジョン」に示す4つの運営方針の実現および施設・庁用備品の適正な維持管理が課題である。運営方針の実現は各施策のアクションプランに沿って、また施設等の維持管理は修繕・更新計画に基づき、財政状況も見ながら優先順位をつけて進めており、令和7年度以降も継続して取り組む。			現状維持	中央図書館
5	市民センター図書コーナーと配本所の運営の充実	市民センター図書コーナーサービス向上、地域に出向き図書の貸し出しや利用者登録等のサービスの実施及び利用のPR		「第2次図書館ビジョン」に示す方針のうち「市民の知的欲求に応え、だれもが快適に利用できる図書館」の実現が課題である。図書コーナー運営のアクションプランは計画通り進んでおり、今後も現状を維持する。配本所を含む図書館サービス網の拡大は、次年度以降も引き続き取り組む。また、図書館と地域を結ぶ図書館サービス網の拡大は、庁内関係部署も連携して進める。			現状維持	中央図書館
6	市史編さん事業	令和10年度の全編刊行を目指し、神戸大学等と連携し市史編さんに取り組む		市史編さん基本方針に基づき、7つの専門部会で市史の編さんに向けた編集方針や課題等の検討を進めながら、資料の把握・調査、市内外の巡見等に取り組んだ。大量の資料を収集・整理・調査しながら、専門分野ごとの部会の運営等を進めつつ、今後『市史』の刊行業務にも取り組む必要があるため、現状の職員体制等を踏まえ、実現可能な刊行計画等に見直した。また収集した資料を編さん後も保存し公開できるような仕組み作りと体制作りの検討を進める。			改善	市史編さん課
小目標 5. スポーツを楽しむ環境をつくる			主な分野				生涯スポーツ	
該当するSDGsの目標番号								
No	事務事業名	事業概要		事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）			今後の方向性	担当課
1	市民がスポーツに親しめる機会の提供	スポーツ推進委員会による実施事業等による、市民がスポーツに親しめる機会の提供		スポーツ推進委員会及びスポーツクラブ21、スポーツ協会がそれぞれの主催事業を実施し、市民がスポーツに触れる機会を提供できている。今後のスポーツクラブ21については、設立から20年以上が経過し、会員の高齢化及び減少、活動会費の確保、クラブハウスの維持管理など多くの課題を抱えている。			現状維持	社会教育・文化財課
2	スポーツ振興官の設置	篠山産業高校硬式野球部、市内のソフトボールを中心とした普及・強化の取組によるスポーツ振興		篠山産業高校を中心に篠山鳳鳴高校との「デカンショマッチ」の開催や、小・中・高が連携した「高校野球200年構想」の取組み、ソフトボール交流大会などに多くの取組みを実施している。※野球、ソフトボールを中心に市内外の交流及び地域の活性化が図れた。			完了	社会教育・文化財課
3	ABCマラソンの開催	丹波篠山ABCマラソンの開催		第46回大会は、全大会の「生まれ変わる大会」から「選ばれる大会」として、制限時間の延長やリレーマラソン、朝日放送やサウルスジャパンと連携したPR活動の他、新たにオリジナルユニホームの導入、写真事業など新しい取り組みを行い、定員を大きく上回る9,443人のランナーに選ばれた。丹波篠山ABCマラソンは、全国に誇れる歴史ある市民マラソンであり、多くの方が丹波篠山の魅力を感じていただける大会である。今後も新たな形を模索しながら、スポーツ振興、スポーツ交流の拠点として、また全国に丹波篠山をPRする地域活性化の取り組みの一つとして、引き続き丹波篠山の春を告げる丹波篠山ABCマラソンを継続して実施する。第47回大会も「選ばれる大会」として開催予定。			現状維持	社会教育・文化財課
4	ライジングスター育成事業の推進	TAMBASASAYAMAライジングスター育成事業の推進による意識高揚や感動体験等の実施		プロバスケットボールの神戸ストークスによるバスケットボール教室やSOMPOボールゲームフェスタを実施し、トップアスリートに触れる機会の創出が図れた。			現状維持	社会教育・文化財課

5	社会体育施設の安定的な施設環境の整備	指定管理者制度等による社会体育施設の利便性向上及び安定的な施設環境の整備	丹波篠山総合スポーツセンター、西紀運動公園の管理運営については、民間のノウハウを活かした自主事業など本市の課題等と一緒に取り組むなど安定的な運営が行われている。	現状維持	社会教育・文化財課
6	スポーツセンター及び西紀運動公園の長寿命化対策	丹波篠山総合スポーツセンター、西紀運動公園の管理運営	丹波篠山総合スポーツセンター、西紀運動公園は、指定管理者制度を導入し、安定的な運営が図れている。施設の長寿命化に係る改修工事を順次行っていく。	現状維持	社会教育・文化財課
基本目標 ③ 地域に根ざした産業とうるおいのあるまちづくり【農都創造】					
中目標 ①資源を活かした持続可能なまち					
小目標 1. 環境を守る、まちづくりに活かす		主な分野		環境教育、自然環境等	
該当するSDGsの目標番号		2 飢餓をゼロに 4 質の高い教育をみんなに 6 安全な水とトイレを世界中に 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリシップで目標を達成しよう			
No	事務事業名	事業概要	事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）	今後の方向性	担当課
1	給水器の設置によるマイボトル利用促進事業	公共施設等に給水器を設置し、マイボトルの利用を呼びかけることによるプラスチックごみの削減	事業者との協定により、市内の公共施設等10か所に設置した給水器において、ペットボトルの使用削減とマイボトルの利用普及を推進。給水状況をモニタリングし、効果の検証を進めている。 令和6年度 累計利用量 22,354ℓ 500mlペットボトル削減本数 44,708本 CO2削減量 10,104kg-CO2	現状維持	農村環境課
2	生物多様性保全活動促進事業	市民等が実施する生物多様性保全活動の促進	市内の豊かな自然環境と多様な動植物の生息空間を保全し、再生するため、市民等が行う自然保護・再生活動に対し、活動に係る費用を補助する。 令和7年度実績 休耕田ビオトープ維持管理 16か所 163.1a ビオトープ維持管理（江・掘り上げ） 30か所2,658.8m 生物多様性の保全再生活動 10件	現状維持	農村環境課
3	環境・まち・未来づくり事業	環境と経済の好循環を生み出す協働活動の推進	第2次環境基本計画のリーディングプロジェクト。多様な主体の協働や新しい枠組みによる課題解決プロジェクト創出につながる環境を良くする活動のモデルケース、テストケースとしての目的を有する。 環境まちづくり提案の募集、補助金による実施の支援、交流会・座談会を開催している。今後はそれぞれの活動が持続可能な取り組みとなるよう支援体制の構築に取り組む。	改善	農村環境課
4	桑原地区公害対応事業	桑原地区公害問題の解決対応	桑原地区にあった養鶏場は、令和4年12月に鶏を撤去し、悪臭等の公害は解消されたが、鶏舎の骨組みや盛土、基礎部分のコンクリートなどは残ったままである。跡地については、農地として原状回復するよう関係機関と調整している。	現状維持	農村環境課
5	地籍調査事業	山林部の一筆地ごとの土地の所有者、地番、地目、境界、面積を調査、測量する。	大山地区において、山林の地籍調査を実施しており、2地区の地籍調査を終えた。令和7年度から4年度間をかけて大山上地区を実施する。	現状維持	森づくり課
6	麒麟の森づくり事業	麒麟の森づくりを進めるための植生調査、事業実施方法の検討、事業PR、参加市民の募集	森林に関心を持ち、森林での活動を促すため、県有環境林において、森林に興味がある市民と市内林業事業者の協働による森林活動を行った。森林の見方、チェーンソーの使い方など実践活動に重点を置いた事業で、ここでの活動が市内の森林に展開されるよう取り組んだ。	現状維持	森づくり課
7	竹林整備支援事業	竹林整備支援と竹資源の活用	放置竹林対策として、切り出した竹を粉砕、チップ化する竹粉砕機を導入し、市内の団体に無料で貸出。令和6年度からは、新たな竹資源活用として竹炭を製造する無煙炭化器の貸出も開始している。 令和7年度実績 竹粉砕機：17団体57日使用 整備面積62,648㎡ 無煙炭化器：5団体8日使用 整備面積94㎡	現状維持	農村環境課
8	森林バイオマス	森林バイオマス利用機器の導入支援、ぬくもりの郷ペレットボイラの利用促進	市内森林の整備と保全、資源の有効活用、再エネ利用による脱炭素社会の実現を目指す、薪や木質ペレット等の木質バイオマスを燃料とするストーブの設置費用を補助している。また、こんだ薬師温泉ぬくもりの郷に整備したペレットボイラの安定的な稼働維持のため、ぬくもりの郷がペレットを購入する際の一部を補助している。今後はより効果的な補助のあり方にむけての検討を進める。	改善	農村環境課 森づくり課

9	森林整備の推進、地場産木材の利用促進	森林整備の推進、及び森林利活用の推進	手入れの行き届いていない森林を解消しようと市内人工林を一通り間伐しようと平成26年度から6500haを対象に、一年あたり325haの間伐を目標に取り組んだ。最近、施業地の面積が小さいのと森林所有者の間伐への意識が薄れているので、目標面積に届かない状態が続いている。	現状維持	森づくり課
10	ワクワク環境みらい都市宣言	環境市民行動『丹波篠山SDGs』の周知・啓発・実践、環境みらいパートナー事業者との連携による環境保全	「丹波篠山市ワクワク環境みらい都市宣言」の実現に向けた市民の心がけや具体的な行動として「環境市民行動『丹波篠山SDGs』」の普及啓発に取り組む。市内全体に活動の輪が広がることを狙いとして、「環境市民行動『丹波篠山SDGs』～みんなでつくろう！丹波篠山の環境アクションブック～」を令和5年度に全戸配布。丹波篠山環境みらいパートナー事業者登録制度により、多岐にわたる環境課題の解決や環境分野の丹波篠山SDGsの目標達成に向け、環境保全の協力体制を整えていく。	現状維持	農村環境課
11	電動車の普及促進に向けた充電・充てんインフラ等支援事業	公共施設等に電気自動車用充電器を設置し、電気自動車をはじめとした電動車への転換に向けたインフラ整備を実施	第2次環境基本計画において、電気自動車などの省エネ機器の導入促進を掲げている。普及のため市内3か所に急速充電器を設置して運用管理してきたが、耐用年数経過に加え、令和7年度末の回線停波に伴い機器が使用不可となることから、今後は民間事業者による公共性を確保した充電器設置を推進する。	改善	農村環境課
12	脱炭素推進事業	2050年市域のゼロカーボン目標の実現に向けた脱炭素化、省エネルギー化の促進	気候変動・地球温暖化対策として、再生可能エネルギーの最大活用を目指し、太陽光発電設備、蓄電池、次世代自動車（電気自動車・燃料電池車）などを導入する市民や事業者に補助金を交付しているが、より温室効果ガス削減に効果的な支援の検討を進めていく。	改善	農村環境課

小目標 2. ごみの減量化、再資源化を推進する			主な分野	廃棄物
該当するSDGsの目標番号		      		
		  		

No	事務事業名	事業概要	事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）	今後の方向性	担当課
1	ごみの分別・減量・資源化事業	ごみの分別学習、ごみゼロeco市役所、ごみの分別の啓発活動、ごみの分別収集	市役所内のごみ減量や節電などの「ごみゼロeco市役所」の職員への啓発、ごみ分別カレンダー・外国語版や指定ごみ袋の外国語表記での外国人にやさしいごみの分別方法の啓発、資源ごみ拠点回収・雑がみ回収ボックスなどによるごみの減量を実施。令和8年度から資源ごみ拠点回収の実施日を月3回に増やし、リチウムイオン充電電池等の充電式電池の回収機会を増やす。	拡充	農村環境課
2	不法投棄防止事業	ポイ捨て、不法投棄の防止	環境美化パトロールの実施、看板による啓発、クリーン作戦の推進。引き続き、不法投棄防止を啓発し、ごみのない美しいまちづくりを推進する。	現状維持	農村環境課
3	生ごみ処理機購入助成	生ごみ処理機購入費の一部を助成する	令和5年度実績32件、500,100円、令和6年度実績52件、794,000円、令和7年度実績39件、556,600円、同助成を通じて引き続き燃えるごみの減量の推進に努める。	現状維持	農村環境課
4	清掃センター継続操業に伴う地域要望の実施	清掃センター地元3自治会の地域要望の実施	現在地での操業期限である令和9年3月以降の継続操業について、地元自治会にご理解いただき、令和24年3月まで操業期間が延長された。地元自治会との確認書に基づく地域振興事業を実施している。	現状維持	清掃センター

中目標 ②農業を磨き、つなぐまち

小目標		1. 魅力ある農業を育てる			主な分野			農業振興、担い手支援	
該当するSDGsの目標番号		2 飢餓をゼロに 		6 安全な水とトイレを世界中に 	8 働きがいも経済成長も 	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	12 つくる責任 つかう責任 	15 陸の豊かさも守ろう 	17 パートナリーシップで目標を達成しよう 
No	事務事業名	事業概要			事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）			今後の方向性	担当課

1	集落営農「地域計画」の推進	集落の農業・農村の担い手の現状を把握し担い手の育成や協力体制の構築を進める。また地域計画の作成を推進する。	地域計画は、１０年後の農地の担い手を明確にするため、農地利用の現状を踏まえ目標となる地図を作成すること。地域計画の作成では、市内全農家にアンケート調査を実施するほか、地区（旧小学校区）単位で話し合いを重ね、令和７年３月末に完成した。担い手が明確でない農地が３１％（令和７年５月現在）あり、引き続き担い手確保に向けた地区及び集落の話し合いを推進する。	現状維持	農都政策課
2	草刈り隊設立推進事業	集落ぐるみでの組織的な草刈り活動を推進する	草刈り隊設立推進事業では、良好な農村環境を維持していくことを目的に、農地の畦畔の草刈りなどを行う「草刈り隊」の設立を支援している。令和８年３月時点で２９組織が設立され、市内各地で草刈り活動が実践されている。農村環境の維持に向け、草刈り隊の設立及び活動の支援を継続する。	現状維持	農都政策課
3	多様な担い手の育成	農村集落が未来にわたり維持発展していくための多様な担い手の育成を図る	多様な担い手とは、兼業農家や専業農家、大規模企業経営や家族農業、また若者や女性、高齢者、定年帰農者など、農村集落が維持発展していくために関わる様々な人たちのこと。担い手の育成に向け、栽培に必要な基礎知識や技術を習得する講座、集落営農組織や認定農業者、新規就農者の経営改善に向けた相談、農作業の効率化・省力化への機械助成等を行ってきた。引き続き多様な担い手の育成と確保に向けた取り組みを行う。	現状維持	農都政策課
4	環境創造型農業と農村づくり	地域循環型の土づくりを推進し農地の質を高める	研修会等で、たい肥や緑肥等の有機物の施用や秋すき等農産物の安定生産と品質向上につなげる土づくりを発信。堆肥を購入・散布した農家グループ等には、市や国で経費等を支援した。堆肥の調達については、耕種農家と畜産農家との連携体制を検討する。	現状維持	農都政策課
5	特産農産物の振興	伝統的に育まれてきた黒大豆、山の芋、栗、茶などの品質向上、安定生産、消費拡大を進める	品質向上及び安定生産の面では、気候変動による高温少雨の影響を受けるため、実証により得られた知見を周知した。また、スマート農業（センシング技術）を活用して作物の乾燥ストレスを測定、関係機関が連携してかん水のタイミングを発信するほか、広報を通じて特産である黒大豆の栽培情報を広く周知した。消費拡大の取組では、播種から収穫、販売の情報についてメディアを通じ発信を行った。引き続き、品質向上、安定生産、消費拡大に向け、情報の収集・発信に取り組む。	拡充	農都政策課

小目標 ２．農地と農村環境を守り未来に継承する			主な分野		農地保全	
該当するSDGsの目標番号						

No	事務事業名	事業概要	事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）	今後の方向性	担当課
1	環境に配慮した米づくり、有機農業支援	化学肥料・農薬を低減し、自然環境に配慮した「農都のめぐみ米」や有機農業を通して持続可能な農業・農村を未来に引き継ぐ	環境や生きものに配慮した米づくりは、市内水稻栽培面積の約１／４（農家３５２戸、５３９ha）で取り組まれている。地域資源や生物多様性を守りながら消費者の信頼を高めるため、令和６年度に「農都のめぐみ」農産物認証制度を設けて農産物の価値向上を図っている。有機農業では、水稻及び黒大豆の有機栽培事例集を作成し、慣行農業等からの転換を進めている。市内飲食業組合等とも連携し、環境創造型農産物の市内消費を推進する。	拡充	農都政策課
2	ため池の維持保全	自然災害に対応する、ため池の保全改修を行う	ため池改修を主に県営事業として実施しており、漏水しているため池を優先的に実施している。今後とも、ため池等整備事業を推進する。	現状維持	農都整備課
3	土地改良施設の機能保持と耐用年数の確保	土地改良施設の修繕や定期更新を行い機能保持と耐用年数の確保を図り、併せて施設管理者の意識高揚につなげる	農業用水利施設の更新を市・県事業として実施しており、老朽化等の著しい箇所を実施している。今後とも、主に国庫補助事業を活用し土地改良施設の長寿命化を図る。	現状維持	農都整備課
4	多面的機能支払交付金事業	多面的機能の維持管理を図り地域の共用施設の維持管理支援を実施し、未取組の地域に対し取り組み地域を拡大する。環境配慮型水路整備を進める	多面的機能支払交付金により農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため地域の共同活動を支援している。今後とも、継続して事業を実施し支援する。また、環境に配慮した「農都のまほろば水路」を推進する。	現状維持	農都整備課
5	サギへの対策事業	サギ類の営巣地の調査、営巣地環境の研究、共存できるまちづくりの検討	特に被害が大きい２地区に対し、被害対策と被害回復に取り組んだ。営巣木の伐採など被害が減少した地区もあるが、音や光などの追い払いが効果を出さない地区もある。効果のある研究が必要である。	現状維持	森づくり課
6	イノシシ、シカ、サル等有害鳥獣対策の実施、獣害対策の推進	電気柵等の補修及び管理支援、鳥獣被害対策実施隊による効率的な捕獲活動、実施隊員の配置、広域的なサル被害対策の検討。一部地区での獣がい対策推進計画の具現化を進める	生息数の維持と農業被害のバランスを取った個体数管理を実施するとともに、農地を野生動物のえさ場としないよう、効果的な被害防除となるように獣害柵の管理支援を行った。このため獣害柵のない場所に新たに被害が出るようになったため、令和７年度から獣害柵の新設を拡充した（国庫補助を活用）。８年度以降も要望が多いことから実施予定。	現状維持	森づくり課
7	獣がいフォーラムの開催	獣がいフォーラムの開催	獣害対策をきっかけに地域振興をはかる丹波篠山市特有の「獣がい対策」を普及啓発することを目的に、実施している獣がいフォーラムについて、７年度は丹波篠山国際博を意識した獣がいフォーラムの開催する。８年度以降も実施予定。	現状維持	森づくり課

8	スマート農業の推進	情報通信技術（ICT）を活用したスマート農業による省力化、生産強化の取り組みの推進	国県の補助事業を情報提供し、直進をアシストするトラクタや田植え機、防除等で使用するドローンなど、スマート農業による作業の省力化・効率化を推進する。 また、作物や土壌環境の状態を数値や画像で客観的に把握する土壌水分センサーなどのセンシング技術により、得られた情報を関係機関で共有し、農業者へ周知する取り組みを継続して実施する。	現状維持	農都政策課
---	-----------	---	---	------	-------

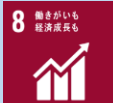
中目標 ③観光資源を活かしてうのおうち

小目標	1. 丹波篠山観光で地域のうおいを高める	主な分野	観光振興、交流人口
-----	----------------------	------	-----------

該当するSDGsの目標番号	   
---------------	---

No	事務事業名	事業概要	事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）	今後の方向性	担当課
1	ささやま荘の活用検討	ささやま荘の利活用について検討する	令和6年度に活用事業者を公募し、審査の結果、活用候補事業者を選定した。ただし、事業者から王地山公園周辺の環境整備の要望もあり、検討必要。	拡充	商工観光課
2	観光大使事業	観光協会との連携による観光事業の推進、観光大使の募集等	観光協会に委託し、毎年募集、決定、活動を行っている。今後も引き続きイベントや観光PRでの活動に活用していく。	現状維持	商工観光課
3	宿泊施設等の振興	市内宿泊施設の振興策を実施	朝と夜のにぎわい創出補助金の終了、宿泊施設等おもてなしリフォーム事業補助金をユニバーサルツーリズム推進補助金に内容変更するなど改善した。でかんしょポイントでの宿泊ポイント付与を実施し、宿泊振興促進する。	改善	商工観光課
4	観光イベントの実施、支援	各種観光イベントの実施及び団体等への支援	市内団体等が主催する観光関連イベントを引き続き支援する。	現状維持	商工観光課
5	観光地をつなぐモビリティの検討、導入	観光の新たな移動手段としてグリーンスローモビリティを運行	グリーンスローモビリティの運行については、令和8年秋まで引き続き運行する。JR駅からの2次交通について、カーシェアの増車など検討する。	改善	商工観光課
6	道の駅設置（登録・整備・開業）	道の駅設置にあたり、地元意向や指定管理者等の関係機関との協議・調整により開業を目指す	道の駅開業に向けて、運営について指定管理者と連携していく。	拡充	商工観光課 地域整備課 農都政策課
7	フィルムコミッション事業	テレビドラマや映画等のロケ地としての誘致活動の実施	映画「レジェンドアンドバタフライ」や映画「十一人の賊軍」など時代もののロケ地となったほか、テレビ番組などでもロケ地として多く取り上げられており、市のブランド力向上に寄与している。引き続き、映画、テレビなどのロケ地誘致活動に取り組む。	現状維持	商工観光課

小目標	2. 外国人観光客のおもてなし体制を整える	主な分野	外国人観光客
-----	-----------------------	------	--------

該当するSDGsの目標番号	     
---------------	---

No	事務事業名	事業概要	事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）	今後の方向性	担当課
1	丹波篠山観光ステーションの運営	外国人観光客をお迎えするためJR篠山口駅において観光ステーションを運営する	現在、3名のスタッフでシフト制で外国人観光客の案内をしている。外国人の来場は増えてきていることから、引き続きおもてなしの対応を続けていく。	改善	商工観光課
2	外国人観光客を迎えるための人材育成	市の魅力を紹介しながら案内するローカルガイドの養成講座を行う	外国人に英語で案内できるガイドを養成しており、一定数の受講があった。今後は研鑽に務めていただけるよう働きかけ、講座は終了する。併せて、民間事業者による「SASAGAIDE」事業を支援する。	改善	商工観光課
3	情報発信	関西観光本部等との連携によるツアーコースの造成や情報発信、外国人向け観光客用の観光コースの作成を行う	SNSや多言語サイトなどを通してインバウンドに向けて丹波篠山の魅力を発信する。	改善	商工観光課

中目標 ④地域に根ざした商いでにぎわいをつくるまち

小目標	1. 元気な商いで地域のにぎわいを興す	主な分野	商工振興・起業支援
-----	---------------------	------	-----------

該当するSDGsの目標番号		      
		 

No	事務事業名	事業概要	事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）	今後の方向性	担当課
1	イノベーションラボ、地域ラボ事業	地域特性を活かしたビジネスプラン講義等の実施、起業支援	地域課題の解決につながる起業・継業に係る支援を、地域おこし協力隊事業とも連動しながら進めており、令和7年度は、定員32名に対し、31名の受講者数となった。受講者の確保について、関係人口の拡大という観点から、市外在住者についても留意しながら進めていく必要がある。このように一定の受講者数を確保し続け、累積受講者の母数を大きくしながら、社会課題解決に寄与する事業者の創出等を図る。	現状維持	創造都市課
2	商店街等の振興	商店街等の振興について経営改善事業等を商工会を中心に行う	現在、商工会を通じて市内事業者の支援を行っている。引き続き商工会との連携を通して、事業者支援を行う。また、市役所各部署において、でかんしょポイントへの事業ポイント付与などを通じて店舗支援を行う。	現状維持	商工観光課
3	起業支援事業	市内での起業を応援するため、初期投資経費の一部助成を行う。	市内で新たに起業しようとする方は増加傾向にあり、それに伴い、地域活性化が行われている。このことから、引き続き助成を行っていくが、補助金額を見直す。	改善	商工観光課
4	住宅リフォーム助成	市内建設業者の受注支援のため住宅リフォーム助成を実施する	制度の活用により、市内事業者の受注促進、市民の生活改善ができており、制度の微修正をしながら引き続き助成を行っていく。	現状維持	商工観光課

小目標	2. 企業振興と誘致で雇用を生み出す	主な分野	企業振興・企業誘致
-----	--------------------	------	-----------

該当するSDGsの目標番号		  
---------------	--	--

No	事務事業名	事業概要	事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）	今後の方向性	担当課
1	地元就職支援・人材確保事業	市内高校等と連携した、地元企業への就業支援の実施、キャリア教育出前講座の実施	市内高校と連携し、「キャリア教育出前講座」等を共催し、地元就職の動機付け、将来の選択肢の幅を広げる取組みを行った。市内3高校の生徒1年生全員と2・3年生就職希望者の生徒が参加した。令和6年度の新規卒業者就職奨励金交付実績は、72人。今後も、SNSを活用した情報発信を強化するなど、幅広く地元就職の推進に取り組む必要がある。	現状維持	創造都市課
2	市内企業の振興・企業誘致事業	奨励金等により市内企業の取り組み支援を行う。また企業の誘致活動を推進、空き工場等の紹介事業を行う	農工団地篠山中央地区に（株）岡本銘木店（令和5年3月）、（株）グリーンウッドファクトリー（令和5年11月）が新工場を設立し、操業を開始している。農工団地岩崎地区には、（株）岩崎電機製作所が新工場を建設中。令和7年度は、残る、農工団地犬飼・初田地区について、ひょうご・神戸投資サポートセンター等の関係機関と連携し、企業誘致に取り組む必要がある。	現状維持	創造都市課

基本目標 4) 良好な景観や伝統文化を大切に継承し、活用するまちづくり【景観・歴史・文化】						
中目標 ①良好な景観と調和した空間のあるまち						
小目標 1. 良好な景観を保全継承し、体感・享受するまちをつくる			主な分野		景観形成	
該当するSDGsの目標番号		11住み続けられるまちづくりを 14海の豊かさを守ろう 15陸の豊かさを守ろう 16平和と公正をすべての人に 17パートナーシップで目標を達成しよう				
No	事務事業名	事業概要	事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）		今後の方向性	担当課
1	丹波篠山の家	基準に適合した木造戸建て住宅を「丹波篠山の家」に認定し普及促進を図る	令和3年度の事業開始以降30件の建築工事費補助認定を行っている。引き続きホームページの充実やセミナー開催に取り組むなど普及促進に努める。		現状維持	地域計画課
2	美しい景観の保全と継承	景観計画の歴史地区指定の地域への修景助成、屋外広告物の改修助成	令和6年度に、歴史地区に歴史街道として新たに6地区を指定した。修景助成制度の周知を行うなど、良好な景観誘導を図っていく。		現状維持	地域計画課
3	景観写真コンクール、景観フォーラムの開催	景観写真コンクールの開催及び景観フォーラムの開催運営	景観写真コンクールでは、令和5年度より新たに学生部門を設け、学生の応募件数が年々増加している。景観意識の高揚を図り良好な景観づくりを目指すため、引き続き取り組む。		現状維持	地域計画課
4	丹波篠山口マン街道の活用	地域の景観資源や歴史的資源等を活かした活動を実施する	宇土自治会や雲部まちづくり協議会と協働してマップ作成などに取り組んだ。また、丹波篠山口マン街道マップを活用した、バスツアーなどを実施した。今後も地域資源を活かした活動に取り組む。		現状維持	地域計画課
5	景観重要建造物の指定	地域の個性ある景観形成の推進のため候補物件の景観重要建造物の指定、また新たな指定に向けた調査の実施	令和6年度に1物件を指定した。地域の個性のある景観づくりのために、その維持、保全及び継承を図ることを目的に新たな指定に向けた取り組みを実施していく。		現状維持	地域計画課
小目標 2. 土地利用を継承し、賑わいのある空間を創造する			主な分野		土地利用・都市計画	
該当するSDGsの目標番号		7エネルギーをみんなにそしてクリーンに 9産業と技術革新の基盤をつくろう 11住み続けられるまちづくりを 15陸の豊かさを守ろう 17パートナーシップで目標を達成しよう				
No	事務事業名	事業概要	事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）		今後の方向性	担当課
1	土地利用、都市計画、里づくり計画の推進	里づくり計画策定地区の運営支援及び新規策定地区への啓発、都市計画決定の変更に向けた取組の推進（用途地域・都市施設）	用途地域の見直しについては篠山口駅周辺やインターチェンジ周辺の土地利用現状を踏まえつつ、都市計画マスタープランの方針に基づき見直しを行っている。また、都市計画決定の変更に向けて関係機関との協議を進めていく。		改善	地域計画課
2	JR篠山口駅周辺の活性化	駅周辺の魅力向上を目的に、まちづくり計画を策定する。策定後は駅周辺のエリアビジョンに基づき、市の玄関口にふさわしい駅前の創出に取り組む。	地域や関係団体と市が一緒になって取り組んできたJR篠山口駅周辺まちづくりビジョンが令和6年度に策定されたことを受け、次年度以降、ビジョンを基に駅周辺の整備イメージやスケジュールを示した市の基本構想の策定に向けた取組を進めていく。		拡充	地域計画課 地域整備課
3	重伝建地区の道路美装化	道路美装化に向けた委員会の設置、美装化区域の決定、交付金要望	福住地区まちなみ保存会と協議により選定した舗装により、街並みと調和した空間の整備を進めていく。		現状維持	地域整備課 社会教育・文化財課
中目標 ②伝統を継承し活かすまち						
小目標 1. 伝統文化をまちづくりに活かす			主な分野		伝統文化	
該当するSDGsの目標番号		4質の高い教育をみんなに 11住み続けられるまちづくりを 17パートナーシップで目標を達成しよう				
No	事務事業名	事業概要	事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）		今後の方向性	担当課
1	文化財保存活用地域計画の実施	計画に基づく歴史文化を活かした地域づくりの推進、地域の歴史文化を活用した取り組みの推進、ガイドブックの作成	文化財保存活用地域計画に基づいて、地域主体の歴史資産を保存活用する取り組みに対して支援を行っている。地域人口の減少に伴い、歴史資産の継承がより難しくなっていくことが課題となっており、人口減少地域の活動をより活性化させるため、令和5年度から助成金に過疎地域枠を設けている。		改善	社会教育・文化財課
2	国史跡の環境整備	史跡篠山城整備基本計画に基づく石垣の安全性確保のための工事の実施、八上城跡の整備基本計画の作成準備	安全性と遺構の保護において問題となっていた史跡篠山城跡の二の丸の高石垣の保護工事が令和6年度で完了、今後大書院の屋根の葺き替えを行う必要があり、財源の確保について関係各所と調整を行う。八上城跡の整備を計画的に進めていくため、令和7・8年度に整備基本計画を策定する。		現状維持	社会教育・文化財課

3	伝統産業（丹波焼、王地山焼）の振興と魅力発信、工芸家の支援	丹波立杭陶磁器協同組合や王地山陶器所等と連携を密にした伝統産業の振興、市内の工芸家の継続的な支援	文化庁の補助事業を活用して、陶の郷の改修を行っている。またそれらを通して丹波焼の郷全体の振興を図っていく。王地山焼振興や市内工芸家の支援は引き続き行う。	現状維持	商工観光課
中目標 ③文化芸術に気軽に親しめるまち					
小目標 1. 文化・芸術を振興し発信する			主な分野	芸術文化	
該当するSDGsの目標番号					
No	事務事業名	事業概要	事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）	今後の方向性	担当課
1	丹波篠山市展の充実	丹波篠山市展の展示方法やPR活動を改善し、質を高めた展示会を開催する	市民の創作活動の奨励と芸術文化に対する関心や理解を深めることを目的とし、市内外から広く作品を募集している。それ以外にも、審査員による講評などを実施しており、出品者や来場者を増やす取り組みを検討し、両者の満足度が高まるような開催運営が必要である。 令和8年度においては、より多くの市民が芸術作品に触れる機会を創出することを目的に、市民を対象とした市民展（仮称）となるよう公民館事業の市民文化祭との併設開催など検討していきます。	改善	社会教育・文化財課
2	田園交響ホール市主催事業の実施	幅広い世代が楽しめる主催事業の計画、実施	オペラ・クラシック・落語・ポップス・演歌等、様々なジャンルの鑑賞型公演や声楽コンクール等、計13本の主催事業を実施した。また、市内音楽団体の出演による自主企画事業、市内中学校の吹奏楽部員への楽器演奏指導事業等を実施した。さらなる、観客増員に向けて、観客へのおもてなしの気持ちを高め、来場時の満足度、チケット購入などの利便性を高めながら、アートツーリズムの考えをプラスして、田園交響ホールのブランド力を高めていく。	現状維持	田園交響ホール
3	田園交響ホール長寿命化事業	田園交響ホール施設・設備の長寿命化のための更新事業（監視モニター設備更新工事）	令和7年度中に完成した。	現状維持	田園交響ホール
4	市民ミュージカルの開催	市民ミュージカルの出演者募集、公演の開催（隔年開催）	令和8年2月7日・8日・11日の3日間6公演を実施し、合計3,797人の入場があった。	現状維持	田園交響ホール
基本目標 5）市民と行政が手をたずさえて取り組むまちづくり【行財政運営】					
中目標 ①ほしい情報が双方向につながるまち					
小目標 1. 市民の声を聴き、情報を共有する			主な分野	情報公開、意見聴取	
該当するSDGsの目標番号					
No	事務事業名	事業概要	事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）	今後の方向性	担当課
1	職員プロジェクト事業	行政課題等について、組織の枠を超えた横断的なチーム（職員プロジェクト）で取り組む	行政課題等について、令和7年度は国際博やユネスコ国際会議に係るプロジェクトチームを設置した。組織の枠を超えた横断的な取り組みを継続している。令和8年度は、市内の駅の活性化に向けたチームを設置する予定である。	現状維持	創造都市課
2	広報広聴事業	広報の発行、市政情報の発信、ふるさと一番会議の開催	市広報紙は毎月21日に17,700部を発行し、市民が必要としている情報を分かりやすく伝えている。また、市ホームページや公式LINE、報道機関を通じて、迅速に発信するようにしている。ふるさと一番会議は市内20会場で開催しているが、若い皆さんの参加が少ない現状にある。多様な世代の皆さんが参加できるよう、テーマ別に議論ができる会議の開催を進めていく。	現状維持	市長公室
3	映像発信事業	まるいのTVや動画データベースでの映像発信	継続して地域の出来事などを撮影・編集し、ホームページやSNS、まるいのTV等で発信する。将来的に廃止・縮小の可能性がある祭礼等から優先的に高解像度で撮影・記録をしていく必要があるため、4K画質での撮影や編集の環境整備が肝要となる。まるいのTVについては、あり方などを含め実施について検討していく。	現状維持	中央図書館
4	丹波篠山映像祭事業	丹波篠山映像祭の開催	前回大会の大賞部門では、市内作者からの応募がなかったことから、市民参加への働きかけが課題である。作品上映だけではなく、イベント等を合わせて開催したので前回よりも集客を図ることができた。また、今後の実施については事業効果を鑑みながら検討する。	現状維持	中央図書館

5	こんにちは市長室等の開催事業	こんにちは市長室、おでかけ市長室の開催	市長が市民の方と直接お会いし、市政に対しての意見交換等を行う場として、こんにちは市長室とおでかけ市長室を開催している。より多くの市民の方に参加いただけるよう、これまで以上に広く周知を図ることとする。	現状維持	市長公室
6	地域サポート事業	地域振興担当職員を配置し、地域に寄り添った対応で、地域課題の解決を支援する	本庁並びに各支所に地域振興課職員を配置し、地域に各種支援を行っているなか、地域課題解決に向けた話し合い等の場においては、関係機関によるアドバイザー派遣制度を活用して対応している。また、地域の空き家活用を図る人材を県補助事業を活用して配置している。こうした地域を伴走支援する人材の必要性が高まっていることを踏まえ、地域を伴走支援する仕組みづくりを進める。	現状維持	地域振興課
7	自治基本条例検証委員会	自治基本条例の検証委員会を設置し、条例の見直し、検討を実施（次回は令和8年度）	自治基本条例の理念に基づき、各事業を実施。	現状維持	創造都市課

中目標 ②効果的・効率的な行政サービスを提供できるまち

小目標	1. 効果的・効率的な行政サービスを提供する	主な分野	財政・公共施設
該当するSDGsの目標番号	                		

No	事務事業名	事業概要	事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）	今後の方向性	担当課
1	業務効率化ツール等の活用	RPA等ノーコードツールの活用による業務効率化の支援	RPAやノーコードツールの活用により、年間2,000時間以上の業務時間削減を実現している。今後も活用範囲を拡大し、費用対効果を上げていく。	現状維持	総務課
2	キャッシュレス端末追加	キャッシュレス端末を各支所に追加導入	支所での該当手続き数とキャッシュレス端末導入費用や維持費との費用対効果を勘案し、支所への追加導入より、オンライン申請の充実による行かない窓口を推進する	改善	総務課
3	マイナンバーカード普及とコンビニ交付推進事業	マイナンバーカード取得者数の推進と証明書等のコンビニ交付の強化	マイナンバーカードを安心して取得し、利活用していただけるよう広報していく。また、証明証等のコンビニ交付についてもより多くの方に利用していただけるよう推奨していく。	現状維持	市民課
4	公民館改修助成	公共的施設建設事業の助成	令和6年度は18件の助成を行い、自治会公民館の適切な維持管理に寄与することができた。令和7年度は、18件を助成し、引き続き公民館が適切に維持管理されるよう支援していく。	現状維持	地域振興課
5	市有地利活用事業	住宅跡地等の市有地の利活用の検討	南新町住宅跡地東側及び糯ヶ坪北県営住宅跡地東側は令和7年度に公募売却する。糯ヶ坪北県営住宅跡地西側は、公募したものの応募者がいなかったため引き続き公募を実施する。その他遊休地についても売却を検討していく。	現状維持	管財契約課
6	施設の長寿命化事業（計画）	施設などの長寿命化計画の推進	学校施設や市営住宅を中心に今後も施設の長寿命化計画を推進していく。今後は計画進捗のフォローアップを実施し、現状把握に努める。	現状維持	管財契約課
7	市有バス利用推進事業	市有バスの利用促進、ラッピング改修	市主催事業やまちづくり協議会で市バスを運行する。ラッピングは損傷がないため継続使用する。	現状維持	管財契約課
8	本庁舎設備更新	本庁舎エレベーター改修工事	令和5年度に改修済み。	完了	管財契約課
9	課税、収税事業	適切な課税、未収金の縮減、税務システム導入による効果的な業務の推進	法令等に基づき適正な課税に努めるとともに、催告の強化と滞納処分早期実施により未収金の縮減を図る。行政システムの標準化移行に向け、引き続き作業を進める。	現状維持	税務課
10	税務事務の電子化	市税等の地方税共通納税システムへの追加、預貯金の電子照会への導入	地方税統一QRコード(eL-QR)付与による共通納税システムからの納付開始については、固定資産税・軽自動車税（令和5年度）、市県民税普通徴収・国民健康保険税（令和6年度）で対応済み。また、預貯金電子照会については令和5年度に導入済み。	完了	税務課
11	市税の徴収事務	現年課税率は99%以上、滞納繰越率は前年以上を徴収率の目標とし、自主財源の確保に努める	徴収の強化に取り組んだ結果、令和6年度の徴収率は、現年課税分99.1%（0.5P増）、滞納繰越分19.4%（3.6P増）となった。	拡充	税務課

12	丹波篠山市財政持続的発展計画推進事業	丹波篠山市財政持続的発展計画の推進	篠山再生計画の着実な実行により計画策定時から財政状況が改善されたため、同計画に一旦区切りをつけたが、健全な財政を持続させ、市の発展につなげることを目的に「丹波篠山市財政持続的発展計画」を令和5年度に策定し、財政を持続させる一定の方向性を示すことができたものの、物価の上昇や人事院勧告にもとづく人件費の増もあり、令和7年度は、市民サービスや市の魅力づくりの維持を図りつつ、歳入歳出のあり方について見直しを行った。これにより、財政の悪化に一定の歯止めをかけられたが、なお厳しい財政状況にあることは変わりなく、今後も事業の適正執行とあわせて公共施設の適正配置、事務事業や施設使用料の見直し等に取り組む。	現状維持	財政課
13	第2庁舎設備更新	第2庁舎空調設備改修工事	令和5年度に改修済み。	完了	管財契約課
14	行政手続きオンライン化推進事業	行政手続きのオンライン化を充実させ、「行かない」市役所を推進する。	マイナポータル、キントーンやLINE等によるオンライン申請の充実に取り組んでいる。引き続き、オンライン手続きを充実させ、市役所に足を運ばなくても手続きが完結できるよう市民の利便性を高めていく	現状維持	総務課
小目標 2. さらに信頼される市役所、市職員をめざす			主な分野	市役所・市職員	
該当するSDGsの目標番号		1貧困をなくそう 2飢餓をゼロに 3すべての人に健康と福祉を 4質の高い教育をみんなに 5ジェンダー平等を 6安全な水とトイレを世界中に 7エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8働きがいも経済成長も 9産業と技術革新の基盤をつくろう 10人や国の不平等をなくそう 11住み続けられるまちづくりを 12つくる責任つかう責任 13気候変動に具体的な対策を 14海の豊かさを守ろう 15陸の豊かさを守ろう 16平和と公正をすべての人に 17パートナーシップで目標を達成しよう			
No	事務事業名	事業概要	事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）	今後の方向性	担当課
1	公正な職務執行事業	要望などの公表と公正職務審査会の開催を行う	公正職務審査会を年2回開催し、市への要望事項等の報告及び要望等が不当要求行為に該当するものでないか審査を行っている。また、要望等の内容について、市のホームページで公表している。 内部公益通報制度について、職員に対して制度の仕組みや通報窓口について周知を徹底し、適正な運用を図ることで、公正な職務の執行に努める。	現状維持	総務課
2	公契約事業	公契約の質の確保を行う	公契約審議会において検証している。	現状維持	管財契約課
3	入札監視事業	入札制度の透明化、信頼される入札の実施、契約事務	入札監視委員会において検証している。	現状維持	管財契約課
4	明るい挨拶事業	職員として市民などに明るく元気なあいさつの徹底を行う	市民ホール案内当番において、元気なあいさつの習慣化に取り組んでいる。また、職場ごとに接遇推進員を定め、あいさつも含めて職場内の啓発を行っている。さらに、令和7年度からは春・冬のあいさつ強化週間に総務課職員が庁舎入口等であいさつ運動を行うことにより、職員同士のあいさつにも力を入れている。引き続き、あいさつのメリットを職員間で共有しながら、市民に親しまれる職員、風通しのよい職場づくりを目指す。	現状維持	総務課
基本目標 6）丹波篠山ブランドを創り、活かすまちづくり【ブランド創造】					
中目標 ①ブランドを創造し、磨き上げるまち					
小目標 1. 日本遺産、創造都市をまちづくりに活かす			主な分野	日本遺産、創造都市	
該当するSDGsの目標番号		4質の高い教育をみんなに 8働きがいも経済成長も 9産業と技術革新の基盤をつくろう 10人や国の不平等をなくそう 11住み続けられるまちづくりを 17パートナーシップで目標を達成しよう			
No	事務事業名	事業概要	事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）	今後の方向性	担当課
1	総合計画の推進	総合計画の各種施策の進捗管理及び各施策に紐づくSDGsの推進を行い、後期基本計画の策定を行う	令和7年度で前期基本計画期間が終了するため、前期基本計画の評価を行い、令和7年度に後期基本計画を策定すべくパブリックコメントを終えたところである。引き続き後期基本計画の策定に向けて取り組んでいく。また、実施計画により各事業を推進する。	現状維持	創造都市課
2	日本遺産のまちの推進	日本遺産のまちの魅力を高め、情報発信を行い観光客の誘致につなげる	毎年日本遺産フェスティバルに参加し、PRブースにおける情報発信、講習会実施による周知活動を行っている。引き続き日本遺産のまちとしての情報発信を行っていく。	現状維持	市長公室 商工観光課

3	ユネスコ創造都市の推進	ユネスコ創造都市ネットワークに関連する、イベントや交流事業等による一層の創造都市の活動推進を行う	ユネスコ創造都市ネットワーク加盟の国内外の各都市との交流や国内ネットワークである創造都市ネットワーク日本に加盟し、各団体との交流活動を行っており、また、クラフトウィレッジやまちなみアートフェスティバルなどへの補助を通して、工芸家や芸術家を支援している。引き続きネットワークを活かした交流や工芸家への支援を行う。	現状維持	市長公室
小目標 2. 丹波篠山の宝石（地域資源）を日本の宝石に育てる			主な分野	ブランド創造	
該当するSDGsの目標番号		11 住み続けられるまちづくりを	15 陸の豊かさも守ろう	17 パートナーシップで目標を達成しよう	
No	事務事業名	事業概要	事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）	今後の方向性	担当課
1	ワクワク農村未来プランの推進	ワクワク農村未来プランモデル地区における取り組み支援及び実践冊子の作成、プランの全集落への周知	200以上の自治会でプランの学習会を実施したほか、令和8年3月末現在、200以上の自治会でワクワク農村創生補助金を活用。ワクワク農村創生補助金事業は令和7年度で終了となるが、今後、ワクワク農村創生補助金事業の実施内容を検証し、ワクワク農村未来プランが推進されるような新たな支援を検討する。	現状維持	地域振興課 創造都市課
2	日本農業遺産を核とした特産物のブランド向上	日本農業遺産の認定を受けた黒大豆の歴史性や栽培技術の特徴等を活かしながら特産物のブランド向上及び技術伝承に取り組む	日本農業遺産は、「何世代にもわたって継承されてきた独自性のある伝統的な農業と文化、ランドスケープ、農業生物多様性などが一体となった重要な農林業システム」として国が認定する。認定から5年目を迎え、保全計画に掲げた目標は、31項目中27項目において「達成」または「達成に近い」結果となった。専門家会議のモニタリングでは、「関係人口を増やす取組やセミナーの実施」などについて高い評価を受けた。新たな保全計画を作成し、ブランド向上及び技術伝承に取り組む。	現状維持	農都政策課
中目標 ②ブランドの情報に触れられるまち					
小目標 1. 丹波篠山ブランドの情報を効果的に発信する			主な分野	ブランド情報共有・発信	
該当するSDGsの目標番号		17 パートナーシップで目標を達成しよう			
No	事務事業名	事業概要	事業の実施状況と課題・改善点（これまでの実施状況を踏まえ、次年度以降の課題・改善点を記載）	今後の方向性	担当課
1	関係人口創出、関係人口案内所構築事業	関係人口と実施主体をつなぐ案内所を設置し、丹波篠山ふるさと応援団と地域のマッチングを行う	関係人口と地域をつなぐ「つながり案内所」を開設しマッチングを行っている。引き続き、マッチング件数の増加に向けてPR等に取り組んでいく。	現状維持	創造都市課
2	ブランド戦略事業	丹波篠山ブランド戦略を推進、市場開拓、インバウンド戦略など、内外向きの戦略を持ったまちづくりの実施を行う	関西圏におけるPRに加え、関東圏における情報発信などのPR活動を推進する。	拡充	市長公室
3	ふるさと大使事業	ふるさと大使を活用したPR事業やスポーツ・文化活動への奨励事業を実施する	ふるさと大使を活用し、市の事業をPRしたり、全国規模のスポーツ大会などに参加する市民に対して奨励金を交付し、丹波篠山市のPRを行っている。引き続きPRにつながるよう取り組む。	現状維持	創造都市課 市長公室
4	丹波篠山観光情報の効果的な発信	観光協会との連携による観光公式サイトでの情報発信、SNSによる積極的な情報発信の展開	観光公式サイト、SNS等で、旅マエ・旅ナカの情報収集のために適切な情報発信を引き続き行う。子育て世代をターゲットにインフルエンサーを活用する。	拡充	商工観光課
5	千葉ロッテマリーンズとのスポンサーシップ契約に基づく黒豆ナイターの開催	千葉ロッテマリーンズとのスポンサーシップ契約を締結し、市の魅力発信を目的とするスペシャルナイターの開催及び特産品のPR、ふるさと大使の中森選手の活用、中森選手への支援などを実施	中森選手の応援として始まった事業であるが、関東圏への貴重なプロモーションとなっている。引き続き関東圏への重要なシティブロモーションとして取り組む。	現状維持	市長公室 商工観光課 社会教育・文化財課